

Accuphase

PRECISION SA-CD TRANSPORT



SUPER AUDIO CD



プレジジョン SA-CDトランスポート

DP-800 取扱説明書



ご使用前に、この「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お客様カードと引きかえにお届けいたします「品質保証書」と一緒に大切に保存してください。

このたびはアキュフェーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、最終の出荷にいたるまで厳重なチェックを行い、その過程と結果の個々の履歴は、製品全体の品質保証に活かされています。このような品質管理から生まれた本機は、必ずやご満足いただけるものと思います。

末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

3年間の品質保証と保証書

当社製品の品質保証は3年間です。付属の「お客様カード」に必要事項を記入の上、お早めに(なるべく10日以内に)ご返送ください。「お客様カード」と引きかえに「品質保証書」をお届けいたします。

※「お客様カード」のご返送や「品質保証書」の発行について、詳しくは31ページをご参照ください。

製品に関するお問い合わせや異常が認められるときは、当社品質保証部またはお求めの当社製品取扱店へ、直ちにご連絡ください。

尚、品質保証は日本国内のみ適用されます。

Accuphase warranty is valid only in Japan.



マークについて

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人身事故の発生する可能性や製品に重大な損害を生じる恐れがあることを示しています。お客様への危害や、機器の損害を防止するため、表示の意味をご理解いただき、本製品を安全に正しくご使用ください。



この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための事項が示してあります。



この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が軽度の傷害を負う可能性や製品に損害を生じる恐れがあり、その危険を避ける為の事項が示してあります。

付属品を確認します

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| ● 取扱説明書 …………… 1冊 | ● リモート・コマンダー RC-100 …………… 1個 |
| ● 安全上のご注意 …………… 1冊 | ● 単4乾電池 …………… 2個 |
| ● お客様情報の取扱いについて …………… 1枚 | ● HS-Linkケーブル …………… 1本 |
| ● お客様カード …………… 1枚 | ● AC電源コード(2m) …………… 1本 |
| ● 目隠しシール …………… 1枚 | ● クリーニング・クロス …………… 1枚 |

目次

付属品を確認します 表紙裏頁

1. ⚠ 警告 安全上必ずお守りください 2

お使いになる前に 2

⚠ 注意/使用上の注意 3

DP-800の録音について 4

本機で再生できないディスク 4

本機で再生できるディスク 4

2. 各部の名前

フロントパネル、リアパネル 5

ディスプレイ部/リモート・コマンダー 6

3. 接続図 7

4. 各部の動作説明 8~10

5. リモート・コントロール 11

6. ご使用方法

演奏の基本操作 12

機能設定: セッティング・モード

電源ON時のプレイ動作 13

自動ポーズの時間 13

変更した機能を初期設定に戻す 13

ディスプレイ部の表示例

ディスクを入れて、▲ [OPEN/CLOSE] ボタンを押す 14

ディスクを入れて、|| [PAUSE] ボタンを押す 14

プレイ(演奏)中のディスプレイ 14

ストップ(停止)状態でのディスプレイ 14

TEXT情報付ディスクのディスプレイ例 15

いろいろな演奏方法

途中で演奏を中止するには 16

演奏を直ちに開始しないとき 16

トラック(曲)を指定して演奏 16

トラック(曲)の途中の演奏したい部分を探す 17

リピート(繰り返し)演奏

ディスク全曲の繰り返し演奏: 全曲リピート 18

1曲の繰り返し演奏: 1曲リピート 18

曲中の指定区間の繰り返し演奏: A↔Bリピート 19

プログラム演奏 20, 21

7. DP-800を活用する接続例

DC-330と接続 22

DP-78などと接続 22

DP-800とDC-330, DF-45をデジタルで接続 23

DP-800とDG-38の組み合わせ例

① DC-801とDG-38をデジタル接続する場合 24

② DC-330とDG-38をデジタル接続する場合 24

③ DG-38をアナログ接続する場合 25

④ さらにDF-45を接続する場合 25

8. 他機種との接続で使用するオプション類

HS-Linkケーブル(1.5m) 26

HS-Link入力ボード DI2-HS1 26

HS-Link出力ボード DO2-HS1 26

オプションの取り付け方法 27

9. 保証特性 28

10. ブロック・ダイアグラム 29

11. 故障かな?と思われるときは 30

12. アフターサービスについて 31

1. ⚠️ 警告 安全上必ずお守りください

ご使用前にこの『取扱説明書』と別冊の『安全上のご注意』を良くお読みの上、製品を安全にお使いください。

■ 電源は必ずAC(交流)100V、50Hz/60Hzを使用する。

- AC100V(50Hz/60Hz)以外で使用すると、感電や火災の原因となります。

■ 電源コードは取り扱いを誤ると、感電や火災の原因となり危険です。

- 付属の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全です。接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。

■ 密閉されたラック等には絶対に設置しない。通風が悪いと機器の温度が上り、火災や故障の原因となります。

■ 放熱のため製品の周辺は他の機器や壁等から充分間隔(10cm以上)をとる。

■ 脚の交換は危険ですから行わない。取り付けネジが内部の部品に触れると、火災や感電、故障の原因になります。

■ 機器の上に水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない。

■ 火災又は感電を防止するために、雨が降る場所又は湿気のある場所では絶対使用しない。

■ キャビネットや底板は絶対にはずさない。内部に手などで触れると感電や故障の原因となり、大変危険です。

■ 次の場合には、まず本体の電源スイッチを切り、必ず電源コードをコンセントから抜く。

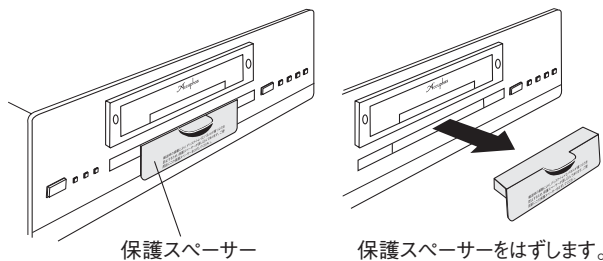
- 内部に水や薬品がかかった場合。
- 内部に異物(燃えやすい物やヘアピン、釘、硬貨など)が入った場合。
- 故障や異常(発煙やにおいなど)と思われる場合。
- 落としたり、破損した場合。

※ 電源コードをコンセントから抜かないと、電源スイッチをOFFにただけでは、本機への電源供給が完全に遮断されません。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

※ 必ず当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

お使いになる前に

輸送時の振動により、ディスク・トレイとパネルが傷つくのを防止するため、保護スペーサーが差し込んであります。ご使用前にこの保護スペーサーをはずしてください。



※ アフターサービス等の輸送時にも、このはずした保護スペーサーを使用しますので、保存しておいてください。

お手入れ

- お手入れの場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のホコリやゴミ、指紋等汚れの拭き取りには付属のクロスを使用してください。特にウッド・キャビネットの場合には、表面を傷つけることなく、きれいに拭き取ることができます。
- 付属のクロスは、洗濯して繰り返し使用できます。洗剤で洗濯後は、よく水洗いし乾いた状態でご使用ください。
- ベンジン、シンナー、油、ワックス等を使用してお手入れは、表面を変色させたり、傷つけたりしますので使わないでください。

⚠ 注意

■設置場所について

必ず水平な場所に設置してください。次のような場所は、故障や事故の原因となります。

- 通風が悪く、湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たる所
- 暖房器具の近くなど温度の高い所
- 極端に寒い所
- 振動や傾斜のある不安定な場所

また、**他の機器と直接重ねての使用は絶対に避けてください。**

チューナーやテレビ、DVDレコーダー等から離して設置する。

- 近くに置くと雑音や映像の乱れが生じることがあります。(特に室内アンテナの場合は注意。)
- アンテナ線と本機の電源コードや入・出力コードを離して設置してください。

■レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光をのぞき込むと視力障害の原因となります。

■子供がディスク挿入口に指を挟み込まれないように注意する。

けがや故障の原因となることがあります。

■入・出力コードを接続する場合は、必ず各機器の電源を切ってから、確実に行なう。

- RCAタイプのピンプラグをジャックから抜き差しするときは、一瞬(ー)側が浮いた状態になるため、大きなショック・ノイズを発生し、スピーカーを破損する原因となります。
- 電源を入れた状態で光ファイバーを抜き差しすると、ショック・ノイズを発生する場合があります。

■POWERスイッチは、各機器が正しく接続されるまで入れないでください。

■電源スイッチのOFF直後、20秒以内に再びONしない。ノイズ発生などの原因となることがあります。

■長期間で使用にならないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

■入・出力端子などに接点保護剤などを絶対に使用しない。

樹脂部が経年変化で破損して感電や故障の原因となります。

■音量の調整について

SA-CDは、可聴帯域を超える高域成分の出力が可能です。音が出ていないときでも、不用意に音量を上げると、ノイズが出たり、思わぬ大音量が出て、アンプやスピーカーを破損する場合があります。

演奏を始める前は、大音量にならないように必ず音量を小さくしておいてください。

■HS-Linkケーブルの接続

HS-Linkの接続は、HS-Linkを装備しているオーディオ機器にHS-Linkケーブルで入力してください。

- 必ず付属(または当社別売)のHS-Linkケーブルを使用してください。
- 誤ってコンピューターのLAN等に接続すると、それぞれの機器やシステムを壊すおそれがあります。

使用上の注意

■CCCDの再生は、動作・音質を保証できません。

- コピー・コントロールCD(CCCD)など『著作権保護技術付音楽ディスク』は、現在のCD規格に準拠していない特殊ディスクのため、当社のCD再生機器による再生の動作・音質は保証できません。
- CCCD等の詳細につきましては、ディスクの発売元にお問い合わせください。

■光学系ピックアップの結露について

冬期、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴がついて曇ってしまう現象、これを結露といいます。CDプレーヤーでも次のようなときに、ピックアップ・レンズに結露することがあります。

- ストープなど、暖房器具をつけた直後
- 湿度が高く、湯気が立ち込めている部屋に置いてあるとき
- 冷えた戸外や冷房のきいた部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだとき

結露してしまったら

結露すると、光学ピックアップがディスクのデジタル信号を読み取ることができず、プレーヤーが正しく動作しなかったり、まったく作動しなくなります。

このような場合、ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間ほどで露が取り除かれ、正常な作動をするようになります。

～ディスクの取り扱いについて～

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿のところには置かないでください。
- 演奏終了後は、ホコリ・キズを避けるため、必ずケースに入れて保存してください。
- レーベル面の反対側が信号読み取り面です。持つ場合には、信号面をさわらないようにしてください。指紋やホコリなどの汚れは音質劣化の原因となります。
- ディスクのお手入れの場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ軽く拭いてください。
- ベンジン、レコードクリーナー、静電防止剤などは、ディスクを傷めますので使わないでください。

DP-800の録音について

HS-Linkで他機種に伝送したデジタル信号(SA-CD/CD)は、HS-Linkからのみ出力されます。HS-Link以外の端子(COAXIAL等)からは出力できません。従って、CD録音の場合には、本機のCOAXIAL端子を使用してください。

SA-CDのデジタル録音

著作権保護のため、SA-CDのデジタル録音はできません。

SA-CDのアナログ録音

DC-801でD/A変換後、アナログ・プリアンプのREC端子から録音します。

- * DC-801の「DIGITAL OUTPUTS」端子からは出力できません。
- * DC-330のアナログ各オプション・ボードのOUTPUTS端子からも録音できません。

CDのデジタル録音

本機のCOAXIAL(同軸)端子からのCDデジタル信号を、録音することができます。

- * DC-801に接続し「DIGITAL OUTPUTS」端子から録音。
- * DC-330に接続したデジタル出力オプション・ボードのOUTPUTS端子から録音。

CDのアナログ録音

本機のCOAXIAL(同軸)端子からのCDデジタル信号を、D/A変換後アナログ録音。

- * DC-330に接続し、アナログ出力オプション・ボードのOUTPUTS端子から録音。
- * DC-801に接続後、アナログ・プリアンプのREC端子から録音。
- * HS-Linkで伝送したCD信号は、DC-330のアナログ出力オプション・ボードから録音できません。

本機で再生できないディスク

- CD-ROM
- DVD
- SA-CD-Multi
- DVD-Audio
- CD-RW
- dts-CD
- MP-3

※誤って使用するとノイズを発生する場合があります。
 ※CD EXTRA, CD-Rなどは録音状態によっては正常な動作をしないときがあります。

注意

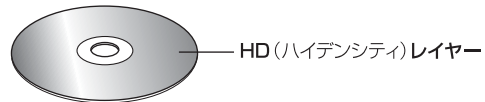
■マルチチャンネルSA-CD(SA-CD-Multi)について

- 「2チャンネル+マルチチャンネル」ディスクの場合、2チャンネル・エリアは再生できますが、マルチチャンネル・エリアは再生できません。
- 2チャンネル・エリアがない、「マルチチャンネルのみのSA-CD」(規格外ディスク)が存在します。このディスクを再生すると、フロントL/Rチャンネルのみ音が出ます。

本機で再生できるディスク

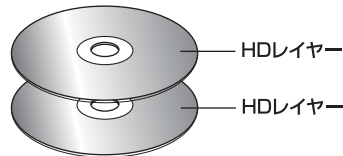
■本機で再生できるのは、SA-CDおよびCDの標準規格に合致したディスクだけになります。再生にあたりましては、音楽ディスク・パッケージの表示をよくお読みください。

SA-CD : シングルレイヤー・ディスク



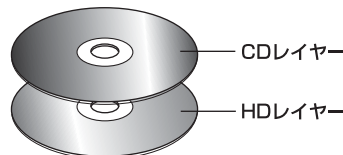
- HD(ハイデンシティ)レイヤー単層のSA-CDです。
- HDレイヤーは、SA-CD用の高密度信号層です。

SA-CD : デュアルレイヤー・ディスク



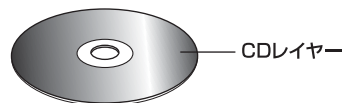
- HDレイヤーが2層になっているディスクで、長時間再生が可能なSA-CDです。
- 片面2層構造のため、再生時裏返す必要はありません。

SA-CD+CD : ハイブリッド・ディスク



- HDレイヤーとCDレイヤーが2層になっているディスクです。
- SA-CD/CDボタンを押して、希望の層を選択します。
- 片面2層構造のため、再生時裏返す必要はありません。
- CDレイヤーは、通常のCDプレーヤーでも再生することができます。

CD

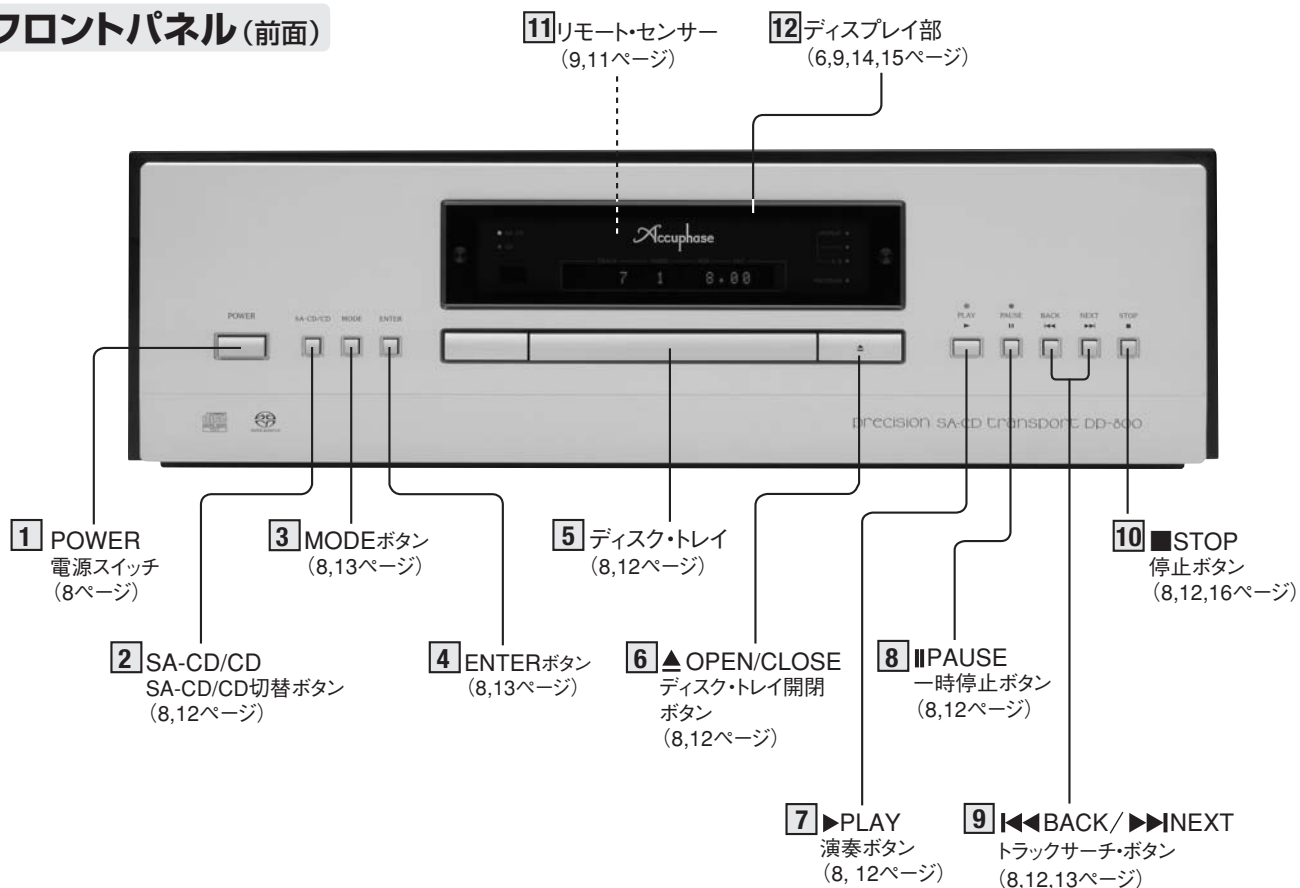


- 従来フォーマットのCDです。

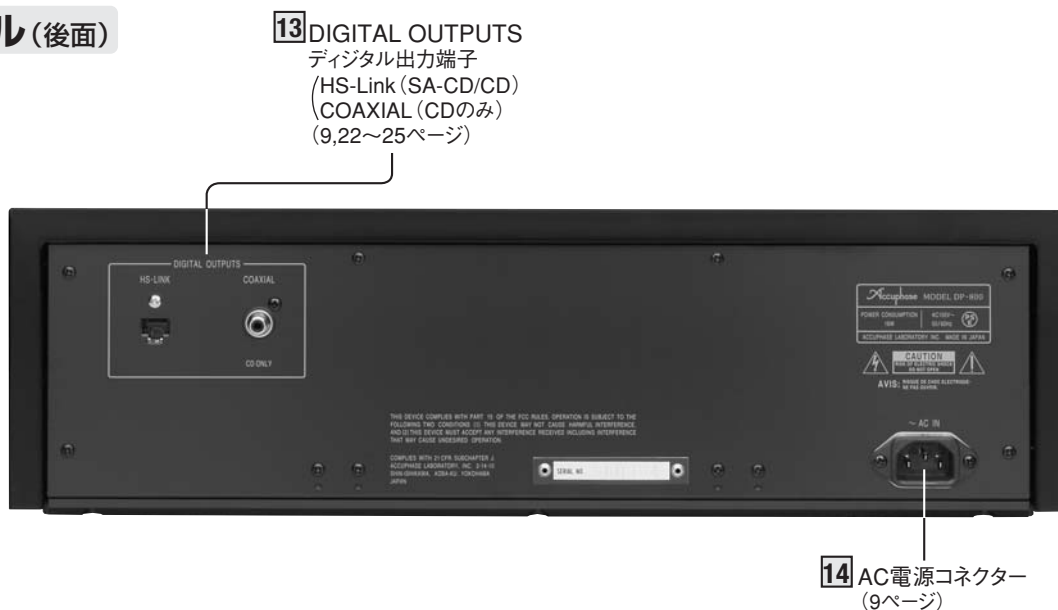
2. 各部の名前

詳しい説明は、各項目の()内のページを参照してください。

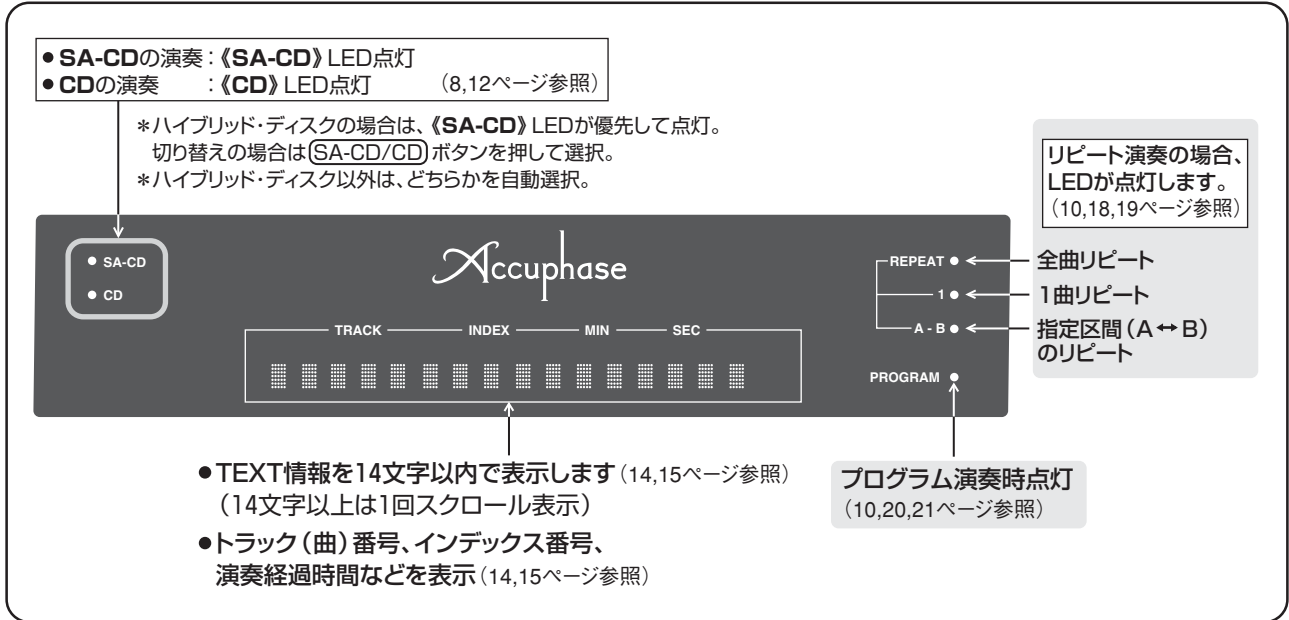
フロントパネル (前面)



リアパネル (後面)



12 ディスプレイ部 (イラストは説明用ですので、実際の表示とは異なります)

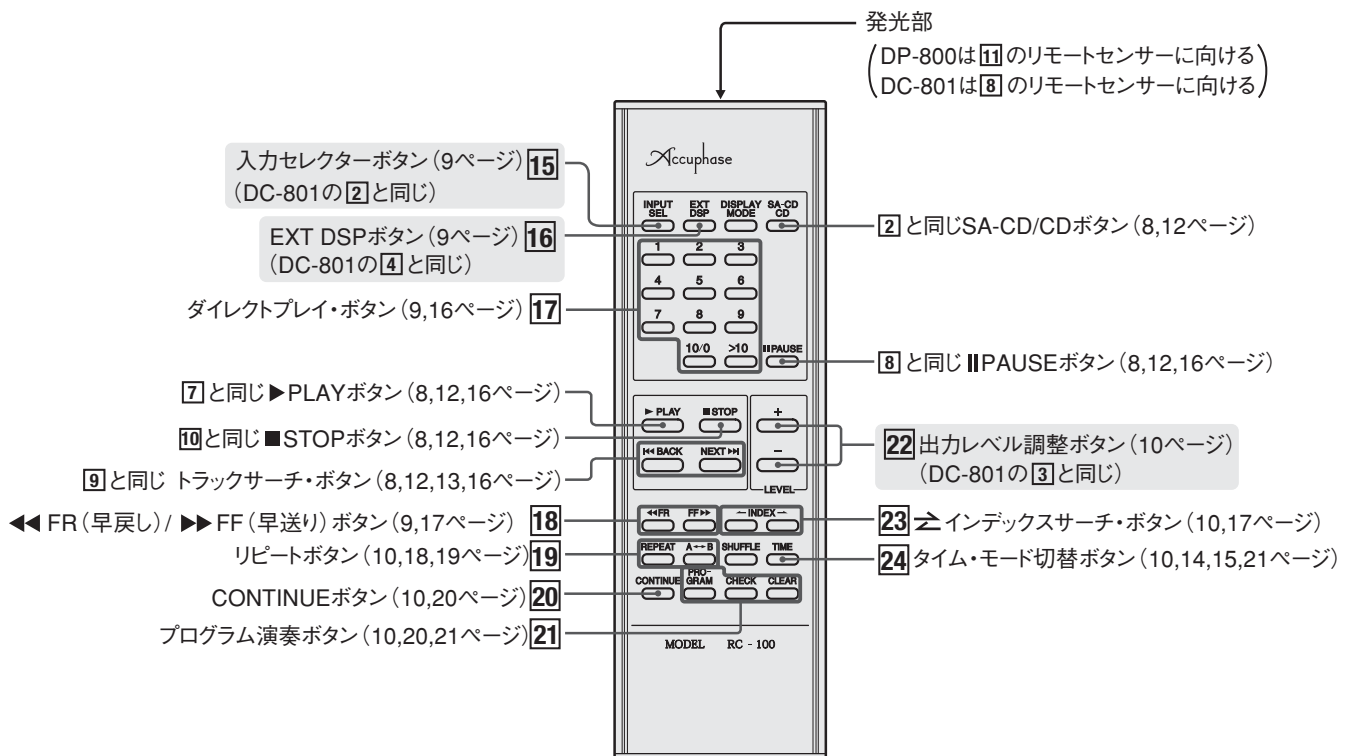


リモート・コマンダー RC-100(付属)

(使用方法は11ページ参照)

RC-100は他機種と共用のリモート・コマンダーです。

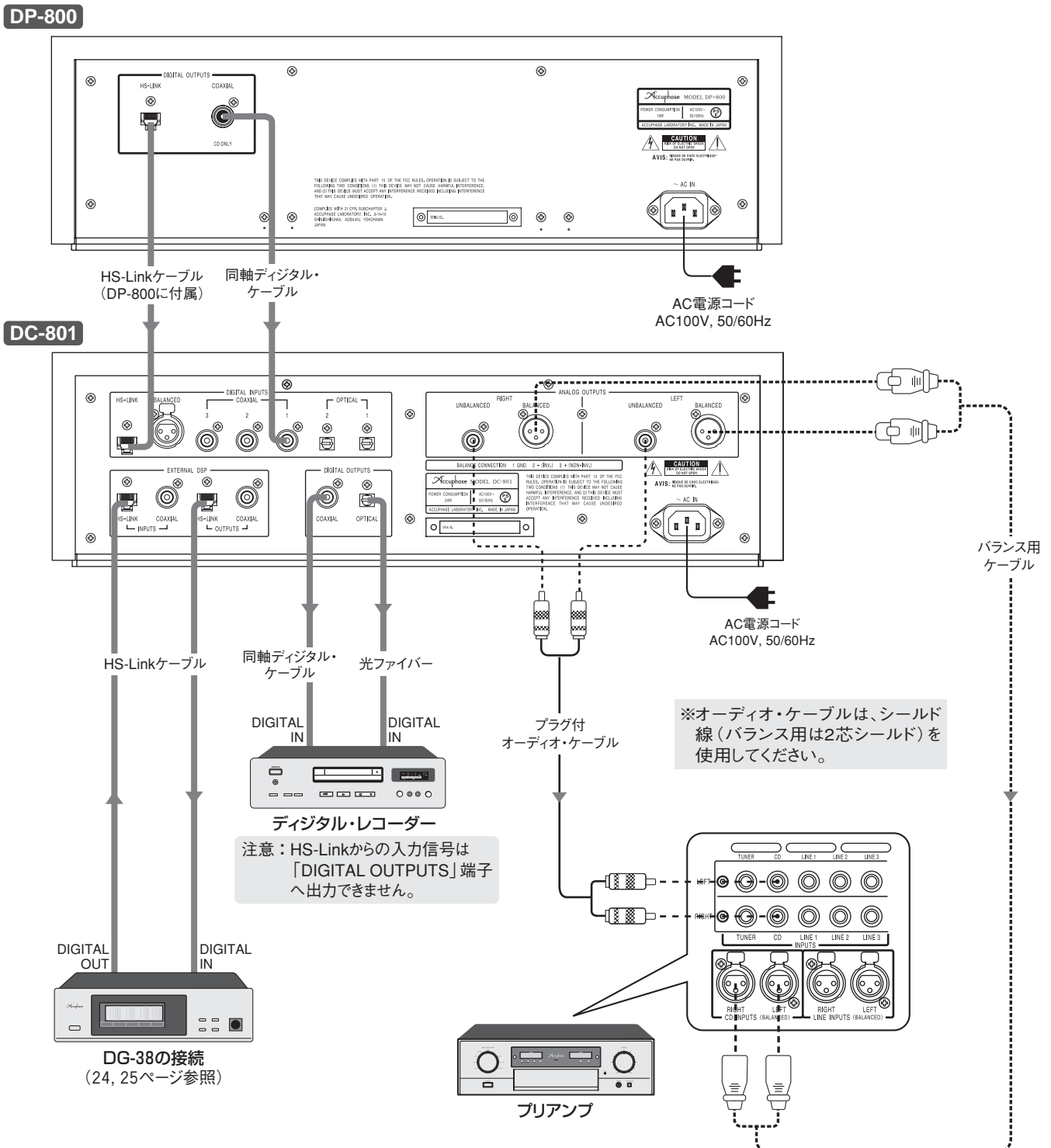
- 説明の無いボタン(《DISPLAY MODE》と《SHUFFLE》)は、DP-800に無い機能ですから、押しても動作しません。
- 《INPUT SEL》《EXT DSP》《LEVEL +》《LEVEL -》ボタンはDC-801の機能です。



3. 接続図

注意：接続するときは、必ず各機器の電源を切る。

- 注意**
- DP-800とデジタル機器との接続は、HS-Linkケーブル(SA-CD/CDの伝送)または75Ω同軸ケーブル(CDのみの伝送)を使用します。
 - DC-801の接続
 - アナログ出力の接続はオーディオケーブルを使用し、LEFT(左)、RIGHT(右)を正しく接続してください。
 - 同一機種同士でバランス用とアンバランス用ケーブルは同時に接続して使用しないでください。アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。



4. 各部の動作説明

- 詳しい使用方法は()内のページを参照してください。
- 本説明書では、「トラック」と「曲」を同義で扱っています。

1 POWER — 電源スイッチ

押すと電源が入り、再び押すと切れます。

- 電源スイッチをOFFにすると、一部の機能を除いて、それまでに設定された機能は解除されます。
- 電源スイッチのOFF直後、20秒以内に再びONしない。ノイズ発生などの原因となることがあります。

2 SA-CD/CD ボタン (12ページ)

ハイブリッド・ディスクの演奏中に、SA-CDかCDを選択します。押すたびに、ディスプレイ部の《SA-CD》と《CD》のLED点灯が切り替わります。

- ハイブリッド・ディスクを入れると、SA-CDを優先して選択します。
- ハイブリッド・ディスク以外は、入れたディスクを自動的に選択します。

3 MODE ボタン (13ページ)

このボタンを押すと《Setting Mode》と表示し、機能設定モードになります。

4 ENTER ボタン (13ページ)

3 (MODE) ボタンを押して機能設定モードで、機能/設定項目を決定する場合に使用します。

5 ディスク・トレイ (12ページ)

▲ (OPEN/CLOSE) ボタンを押すと手前に出てきます。ディスク・トレイ前面を軽く押すか、▲ (OPEN/CLOSE) ボタンをもう一度押すか、▶ (PLAY) ボタンまたは|| (PAUSE) ボタンを押すと閉じます。

6 ▲ (OPEN/CLOSE) ボタン (12ページ)

押すとディスク・トレイが出てきます。もう一度押すと閉じます。

7 ▶ (PLAY) (演奏) ボタン (12ページ)

演奏を開始するときに押します。

8 || (PAUSE) (一時停止) ボタン (12ページ)

演奏を一時停止するときに押します。

9 ◀◀ (BACK) / ▶▶ (NEXT) — トラックサーチボタン (12ページ)

◀◀ (BACK) トラックサーチ・ボタン

演奏中や一時停止の状態、1回押すとそのトラックの頭に戻ります。押すごとに順次、前のトラックの頭へ飛びます。

▶▶ (NEXT) トラックサーチ・ボタン

1回押すと次のトラックの頭へ飛びます。押すごとに順次、次のトラックの頭へ飛びます。

◎ 本体のボタンのみ、0.5秒以上押し続けると、それぞれ

◀◀ (FR) (早戻し) / ▶▶ (FF) (早送り) 動作となります。

3 (MODE) ボタンを押して機能設定モードの場合は、各機能/設定項目を選択します。(13ページ参照)

10 ■ (STOP) (停止) ボタン (12, 16ページ)

PLAY (演奏) 中やPAUSE (一時停止) 中にこのボタンを押すと演奏停止になります。

3 (MODE) ボタン押して機能設定モードの場合は、このボタンを押すと一つ前のセッティングに戻ります。(13ページ参照)

11 リモートセンサー (11ページ)

付属のリモート・コマンダーRC-100の赤外線信号の受光部です。リモート・コマンダーの発光部をここに向けてください。

12 ディ스플레이部 (6,14,15ページ)

さまざまな情報を表示します。

13 DIGITAL OUTPUTS — デジタル出力端子 (22～25ページ)

HS-Link(RJ-45):SA-CD/CDデジタル出力端子

HS-Linkを装備しているデジタル・プロセッサ等と、付属のHS-Linkケーブルで接続します。

SA-CDとCD信号の両方を伝送でき、SA-CD/CDボタンで選択したデジタル信号を出力します。

COAXIAL(同軸):CDデジタル出力端子

CD専用のデジタル出力端子です。

75Ω同軸ケーブルでデジタル・プロセッサ等と接続します。

14 AC電源コネクター

付属の電源コードを接続します。



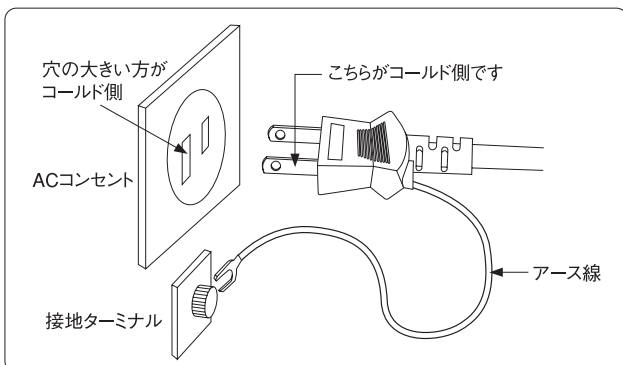
警告

電源は必ずAC100V、50/60Hz家庭用コンセントを使用する。

■電源コードに付いているアース線の接続

付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全です。

接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。



■電源コードの極性について

本機は、トランスの巻き方向、部品の配線など極性を管理して、電源プラグのアース線が出ている方がコールド側になっています。機器の接続を統一したい場合は参考にしてください。

注意

※室内コンセントの極性は一般に、向かって左側(穴が右に比べて大きい)がコールド側です。

※大地に対する電位は屋内配線の状況によって変化します。このためチェッカーなどを使用して測定した場合、電位が逆表示されることがあります。

15 INPUT SEL ボタン — 入力セレクター

DC-801の機能です。

DC-801のDIGITAL INPUTS端子に接続された入力信号を選択します。

詳しくはDC-801の取扱説明書を参照してください。

16 EXT DSP ボタン

DC-801の機能です。

「EXTERNAL DSP」端子に接続したDG-38を選択します。

詳しくはDC-801の取扱説明書を参照してください。

17 ダイレクトプレイ・ボタン (16ページ)

トラック番号を直接指定して演奏を開始させます。

18 ◀◀ FR (早戻し) / ▶▶ FF (早送り) ボタン (17ページ)

PLAY(演奏)中およびPAUSE(一時停止)中に作動させ、聴きたい部分を探します。

19 リピート(繰り返し演奏)ボタン (18,19ページ)

REPEAT

ディスクの全曲または1曲だけを繰り返して演奏します。

A↔B(指定区間の繰り返し演奏)

1曲中、指定区間の繰り返し演奏をします。

20 CONTINUE ボタン (20ページ)

プログラム再生中に押すと、通常の演奏に戻ります。

21 プログラム演奏ボタン (20,21ページ)

PROGRAM

聴きたいトラックだけをプログラムして、好きな順序で演奏を楽しむことができます。

CHECK(プログラム・チェック)

プログラムしたトラックの順番を確認します。

CLEAR

プログラムしたトラックを削除します。

22 LEVEL (+) (-) ボタン 出力レベル調整

DC-801の機能です。

DC-801のアナログ出力のレベルを調整します。

詳しくはDC-801の取扱説明書を参照してください。

23 INDEX ボタン インデックスサーチ (17ページ)

指定したインデックスの頭から演奏を始めることができます。

24 TIME ボタン タイム・モード切替 (14,15,21ページ)

押すたびに、曲中経過時間、曲中残量時間、トータル残量時間やTEXT情報等を表示します。

5. リモート・コントロール

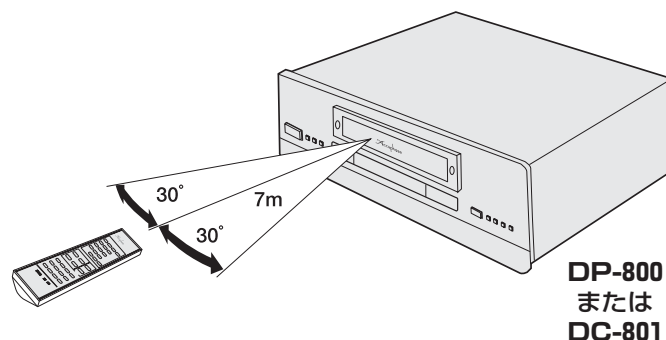
リモート・コマンダーRC-100

本機に付属しているリモート・コマンダーRC-100を使うと、離れたところからDP-800(またはDC-801の一部)の機能をコントロールすることができます。
(機能の詳細は6ページ参照。)

使用法

リモート・コマンダーの発光部を本体のリモート・センサーに向けて、図の範囲内でお使いください。

- 落としたり、内部に液体をこぼしたりしないようにしてください。
- 直射日光の当たる所や暖房器具のそばなど、温度や湿度の高い場所に置かないようにしてください。



DP-800
または
DC-801

電池について

■電池の交換時期

電池は普通に使って約8カ月は動作しますが、操作距離が短くなってきたら交換時期です。完全に消耗しますと、ボタンを押してもコントロールできなくなります。

使用する電池は、単4形を2個、両方とも新しい電池に交換してください。

注意

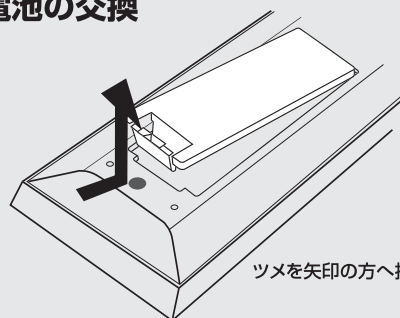
乾電池は正しく使わないと、液漏れや破裂などの危険があります。次の点に十分ご注意ください。

- 電池の向きはコマンダーのケースに示されている通り、 \oplus (プラス)、 \ominus (マイナス) を正しく合わせる。
- 新しい電池と、1度使用したものを混ぜない。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。同じ形状でも、性能の異なるものがあります。
- 長時間にわたりコマンダーを使わないときは、電池を抜いておく。
- 万一、液漏れを起こしたときは、当社品質保証部にご連絡ください。漏れた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

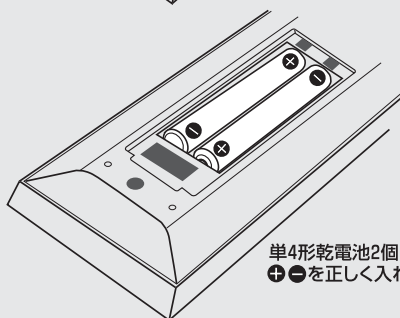
警告

乾電池は充電しない。電池の破裂や、液漏れにより、火災やけがの原因となります。

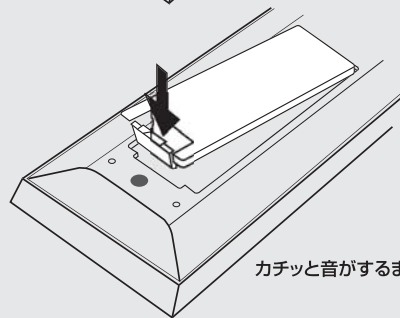
乾電池の交換



ツメを矢印の方へ押し、蓋を開ける。



単4形乾電池2個、 \oplus \ominus を正しく入れる。

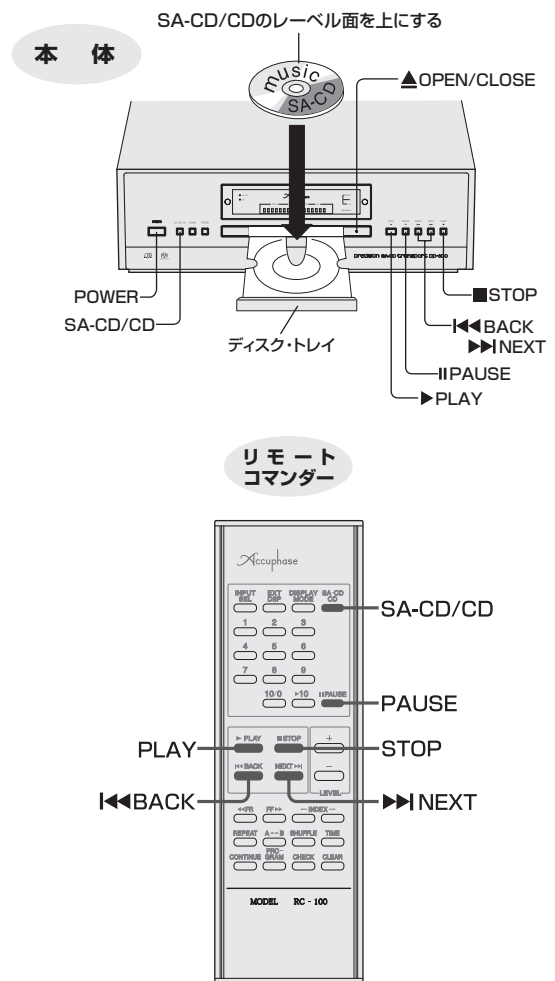


カチッと音がするまで閉める。

6. ご使用方法

演奏の基本操作

- 1 POWERスイッチを押し、電源を入れます。
- 2 ▲OPEN/CLOSE ボタンを押し、(OPEN と表示)で、ディスク・トレイを開けます。
- 3 レーベル面を上にして、ディスクをテーブルにのせます。
▲OPEN/CLOSE ボタンを押し、ディスク・トレイを閉じます。
- 4 ハイブリッド・ディスクの場合は、SA-CDレイヤーを優先して選択 (《SA-CD》LED点灯) します。CDレイヤーを選択する場合は (SA-CD/CD) ボタンで切り替えます。(《CD》LED点灯)
 - ハイブリッド・ディスク以外は、自動的に《SA-CD》または《CD》を選択してLEDが点灯します。
- 5 ▶PLAY ボタンを押すと第1曲目から演奏がはじまります。(《PLAY》LED点灯)
- 6 最後の曲の演奏が終了すると、STOP(停止)状態になります。
- 7 ▲OPEN/CLOSE ボタンを押し、ディスク・トレイを出します。ディスクを取り出したあと、ディスク・トレイは必ず閉じておいてください。



演奏中の基本操作

- 演奏停止(ストップ) …………… ■ [STOP] ボタン
- 演奏を一時停止(ポーズ) …………… || [PAUSE] ボタン (《PAUSE》LED点灯)
- 一時停止をやめて演奏再開 …………… ▶ [PLAY] ボタン || [PAUSE] ボタン (《PAUSE》LED消灯)
- 1曲先に進む …………… ▶▶ [NEXT] ボタン
- 演奏中の頭または1曲前に戻る …………… ◀◀ [BACK] ボタン
- ディスクを取り出す …………… ▲ [OPEN/CLOSE] ボタン

※ハイブリッド(SA-CD+CD)ディスクの演奏時に、聞きたいレイヤーを切り替える場合

[SA-CD/CD] ボタンで希望のレイヤーを選択してください。

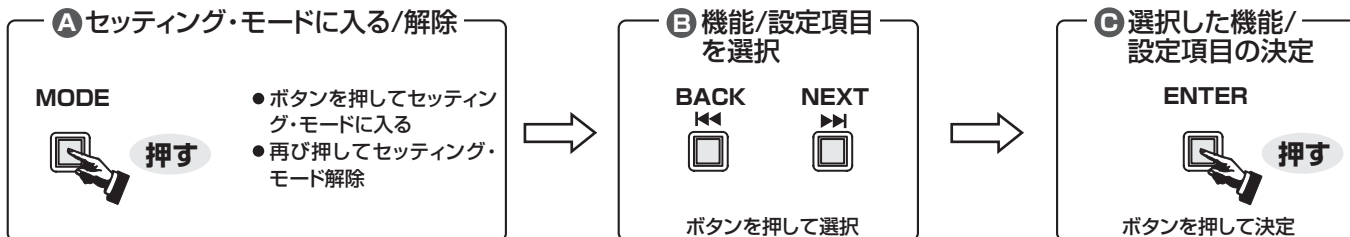
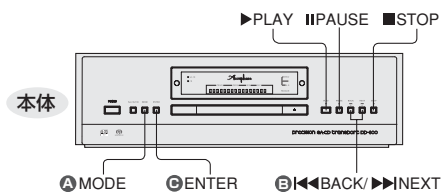
どちらか選択したレイヤーのLEDが点灯

- SA-CD
- CD

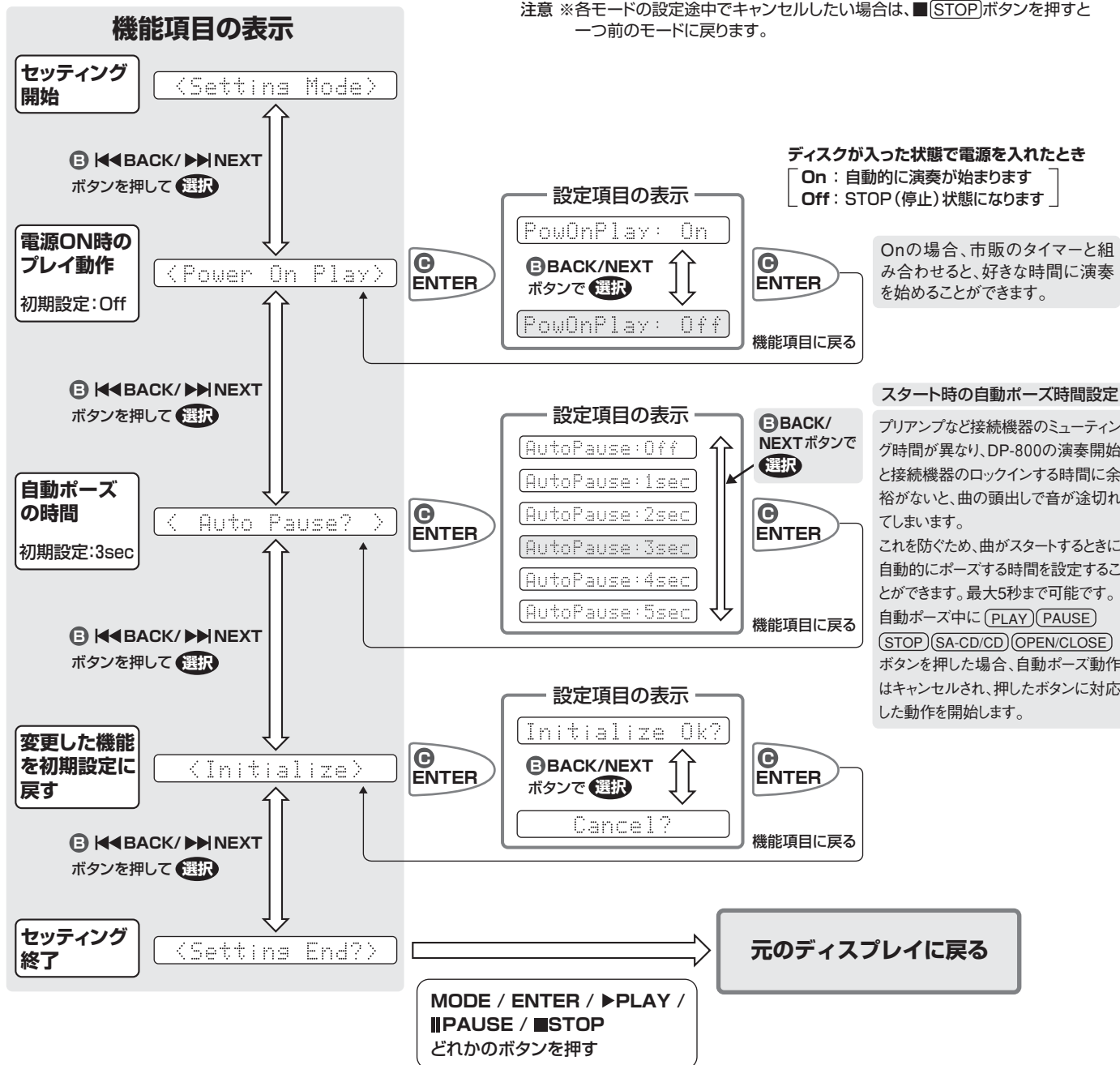
機能設定：セッティング・モード

(MODE) ボタンを押して、セッティング・モードに入り、「電源ON時のプレイ動作」、「自動ポーズの時間」を設定することができます。また、変更した機能を初期設定に戻すことができます。

- セッティング・モードで動作できるのは、本体のボタンのみで、リモート・コンマダーのボタンは動作しません。



注意 ※各モードの設定途中でキャンセルしたい場合は、**(STOP)** ボタンを押すと一つ前のモードに戻ります。



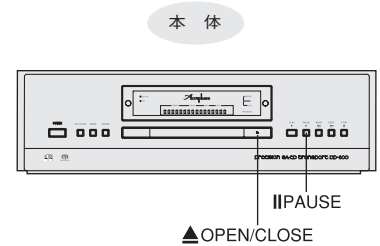
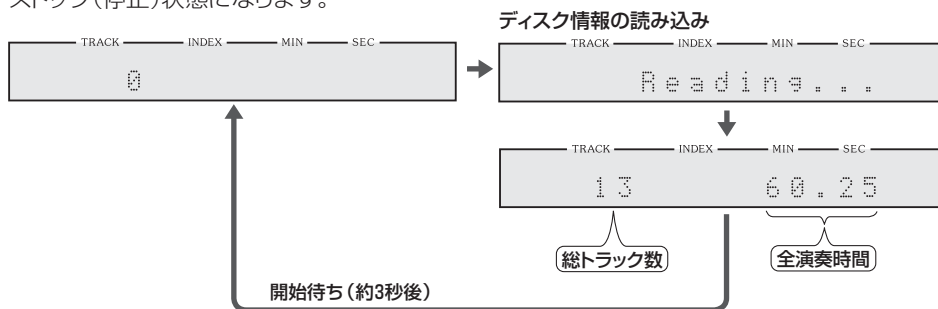
ディスプレイ部の表示例

ディスプレイ部は、ディスクや演奏中の曲に関するいろいろな情報を表示します。
ディスクの演奏中やストップ状態などの状態によって、表示する内容が変化します。

※イラスト例はテキスト情報の無いディスクです。また、イラスト内容は表示例のため、ディスクによって異なります。

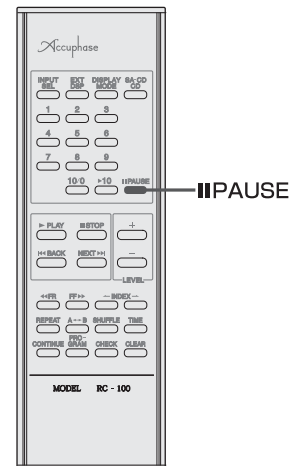
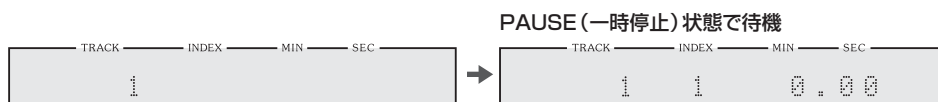
ディスクを入れて、▲(OPEN/CLOSE) ボタンを押す

▲(OPEN/CLOSE) ボタンを押すとディスク情報を読み込み、総トラック数、全演奏時間を表示後ストップ(停止)状態になります。



ディスクを入れて、II(PAUSE) ボタンを押す

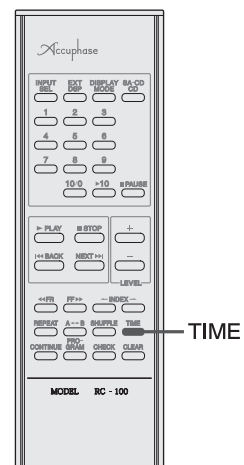
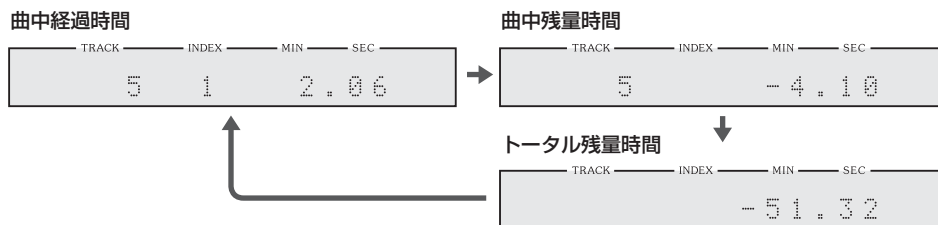
II(PAUSE) ボタンを押すと、1曲目の最初でポーズ(一時停止)状態になります。



プレイ(演奏)中のディスプレイ

TIME ボタンを押す

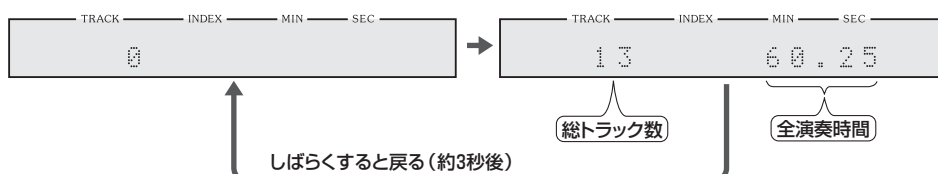
押すたびに、(曲中経過時間) → (曲中残量時間) → (トータル残量時間) を繰り返し表示します。



ストップ(停止)状態でのディスプレイ

TIME ボタンを押す

ディスクの総トラック数と全演奏時間を表示し、ストップ(停止)状態に戻ります。



TEXT情報付ディスクのディスプレイ例

TEXT付ディスクは、音楽信号の他にディスク名やアーティスト名などの情報が記録されています。

- TEXT付ディスクを入れると、ディスク名を表示します。
- TEXTの情報が14文字以上のときは、一度スクロール表示し、その後最初の14文字が固定表示されます。

注意

- 本機が表示できるのは、英数字だけです。日本語は表示できません。
- ディスクによっては、表示できない文字があります。
- 本機が表示できるTEXT情報は、ディスク名、アーティスト名、曲名だけです。その他の情報は表示できません。

プレイ(演奏中)のディスプレイ

TIME ボタンを押す

押すたびに下記の表示を繰り返し表示します。

曲中経過時間

TRACK	INDEX	MIN	SEC
5	1	2	06

曲中残量時間

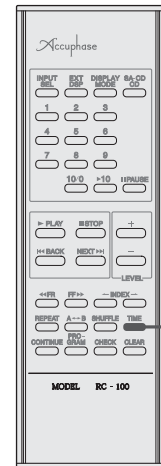
TRACK	INDEX	MIN	SEC
5		4	10

演奏中の曲名

TRACK	INDEX	MIN	SEC
Yokohama			

トータル残量時間

TRACK	INDEX	MIN	SEC
		51	32



ストップ(停止)中のディスプレイ

TIME ボタンを押す

押すたびに、(ディスク名) → (アーティスト名) → (全演奏時間) を繰り返し表示します。

ディスクのタイトル

TRACK	INDEX	MIN	SEC
Accuphase			

ディスクのアーティスト

TRACK	INDEX	MIN	SEC
Bach			

ディスクの総トラック数と全演奏時間

TRACK	INDEX	MIN	SEC
13		70	26

TIME を押す、又はしばらくすると戻る

いろいろな演奏方法

途中で演奏を中止するには

◎ 一時停止は

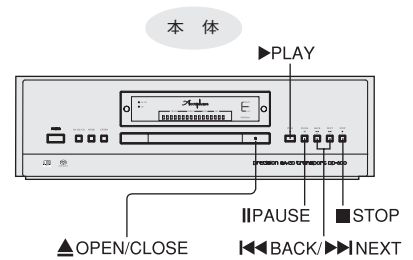
|| [PAUSE] ボタンを押します。《PAUSE》LEDが点灯して演奏は停止します。一時停止を解除するときは、再度 || [PAUSE] ボタンまたは ▶ [PLAY] ボタンを押してください。停止したところから演奏が始まります。

◎ 演奏を止めるには

■ [STOP] ボタンを押します。この場合は、続きの演奏はできません。

◎ ディスクを取り出すときは

演奏中でも、▲ [OPEN/CLOSE] ボタン(本体のみ装備)を押します。



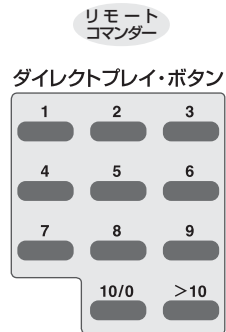
演奏を直ちに開始しないとき

◎ ディスクを置いてから、▲ [OPEN/CLOSE] ボタンを押すと、ディスク・トレイが閉じてスタンバイ状態になります。

◎ ディスクを入れて || [PAUSE] ボタンを押すと、ディスク・トレイが閉じ、第1曲目の演奏開始待ち(《PLAY》と《PAUSE》LED点灯)の状態になります。

トラック(曲)を指定して演奏

◎ PLAY(演奏)中やSTOP(停止)状態のとき、ダイレクトプレイ・ボタンを使うと、指定したトラックの頭から演奏を開始することができます。
トラックの番号を直接押して選曲します。



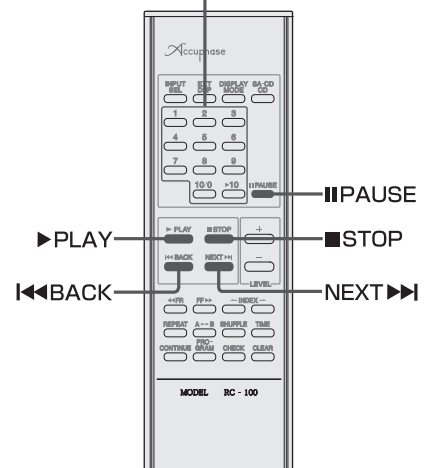
- (1) ~ (9) 押したボタンのトラック番号から演奏開始
- (10/0) 10曲目を演奏
- 11曲目以降の演奏は (>10) ボタンを使用します
例： 15曲目の演奏 …… (>10) → (1) → (5)
30曲目の演奏 …… (>10) → (3) → (10/0)
100曲目の演奏 …… (>10) → (>10) → (1) → (10/0) → (10/0)

※ディスクに入っているトラック数以上の選曲はできません。
※総トラック数が、100曲以下のときに (>10) ボタンを2回押すと元の表示に戻ります。

◎ 演奏中に、◀◀ [BACK] / ▶▶ [NEXT] ボタンを使って、任意のトラックを選択します。

◎ PAUSE(一時停止)のとき、◀◀ [BACK] / ▶▶ [NEXT] ボタンを使って、任意のトラックを選択し、▶ [PLAY] ボタンを押します。

メモ PAUSE(一時停止)中にダイレクトプレイ・ボタンを押すと、押したトラックの頭でポーズ(一時停止)のままになります。



トラック(曲)の途中の演奏したい部分を探す

演奏中に探す

- ◀◀ (FR) / ▶▶ (FF) ボタンを押し続けます。

再生音が断続的に聞えますので、希望の部分に近づいたら、ボタンを離します。
その部分から演奏を始めます。

PAUSE(一時停止)中に探す

- ◀◀ (FR) / ▶▶ (FF) ボタンを押し続けます。

再生音は聞えません。
時間表示をみながら、希望の部分に近づいたらボタンを離します。
その部分で一時停止になります。

インデックスで探す:インデックス・サーチ

INDEXとは…

1曲の中で、いくつかの部分に区切って番号を付けたものです。
区切りのない曲は、**1**を表示します。

演奏中または一時停止中に、インデックス・サーチ・ボタンを使用すると、希望のインデックス番号の先頭から演奏を始めることができます。

◀ (INDEX) ボタン

一回押すと、演奏しているインデックスの先頭に戻ります。
押すごとに、前のインデックスの頭に戻ります。

▶ (INDEX) ボタン

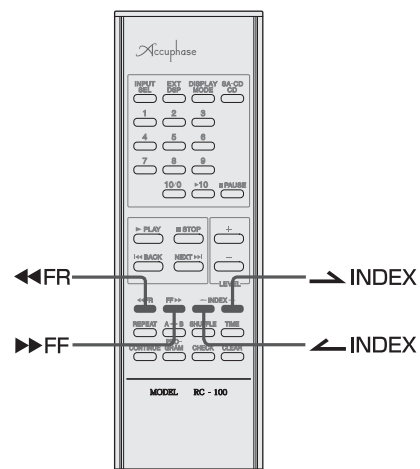
押すごとに、次のインデックスの先頭に進みます。

- ◆ サーチ中はタイム、インジケータは消えます。また、音も出ません。

注意

ディスプレイに ◀ Over!! ▶ と表示されたときは…

最後の曲の終わりまで進んでいますから
◀◀ (FR) ボタンで戻してください。



リピート（繰り返し）演奏

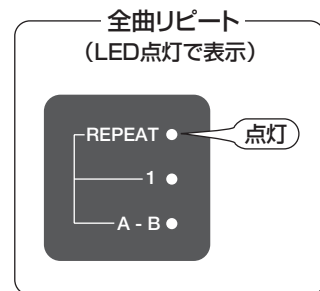
ディスク全曲／1曲／指定した特定部分の繰り返し演奏ができます。

- プログラム再生のときも可能です。
- トレイOPEN時や本機の電源を切っても、全曲および1曲リピートは記憶されますが、A↔Bリピートは解除されます。

ディスク全曲の繰り返し演奏：全曲リピート

◁ REPEAT ボタンを1回押して、▶ PLAY ボタンを押す。再生中でも可能です。ディスプレイ上に「Repeat」が表示され、◁ REPEAT LEDが点灯し、全曲リピートが始まります。

通常の再生の場合 …………… 全曲を順番に再生
プログラム再生 …………… プログラムの曲順に再生



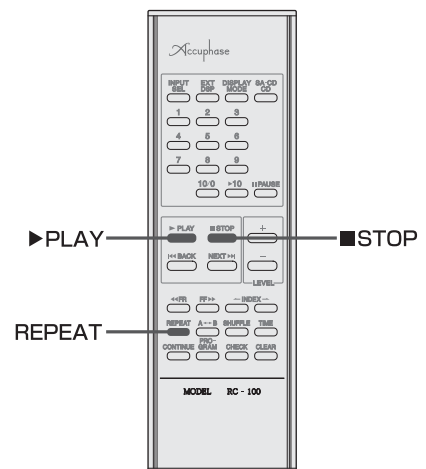
全曲リピートを中断するには…

- (STOP) ボタンを押す。
- 再び▶ (PLAY) ボタンを押すと、全曲リピートが始まります。

通常の演奏に戻すには…

- ◁ REPEAT ボタンを2回押します。
- 「Repeat off」と表示され、◁ REPEAT LEDが消灯し、全曲リピートは解除されます。

メモ：押すごとにLED点灯/消灯とディスプレイ表示が切り替わります



1曲の繰り返し演奏：1曲リピート

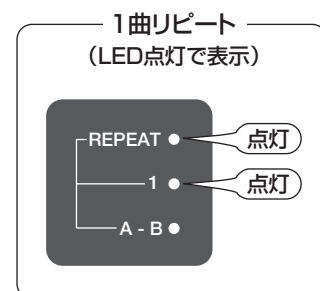
繰り返したいトラックの演奏中に、「Repeat 1」が表示するまで (REPEAT) ボタンを繰り返し押します。◁ REPEATと「1」LEDが点灯すると、1曲リピートが始まります。

1曲リピートを中断するには…

- (STOP) ボタンを押す。
- 再び繰り返したいトラック演奏を開始すると、1曲リピートが始まります。

通常の演奏に戻すには…

- ◁ REPEAT ボタンを1回押します。
- 「Repeat off」と表示され、◁ REPEATと「1」LEDが消灯し、1曲リピートは解除されます。

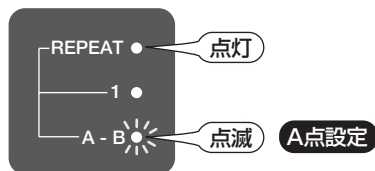


曲中の指定区間の繰り返し演奏：A↔Bリピート

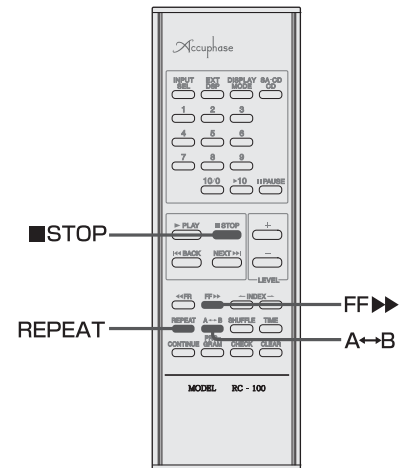
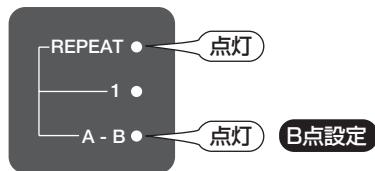
1曲中で聞きたい部分を指定し、そこだけを繰り返し演奏することができます。

注意：1曲の範囲(同一トラック内)を超えて指定することはできません。

- 1 演奏中に、繰り返しの始点(A点)で **(A↔B)** ボタンを押す。
ディスプレイ上の **《REPEAT》** LED が点灯し、**《A-B》** LED が点滅します。



- 2 そのまま演奏を続けて、繰り返しの終点(B点)で **(A↔B)** ボタンを押す。
《A-B》 LED が点灯に変わり、A↔Bリピートが始まります。
●▶▶ **(FF)** ボタンを使うと、手早くB点を決めることができます。



(A↔B) リピートを解除するには…

(REPEAT) ボタンまたは **■ (STOP)** ボタンを押すと、A↔Bリピートは解除されます。

繰り返す指定区間を変更するには…

- 1 A↔Bリピート演奏中に、**(A↔B)** ボタンを押す。
ディスプレイ上の **《A-B》** LED が点滅し、新しい始点(A点)に変わります。
- 2 そのまま演奏を続けて、繰り返しの終点(B点)で **(A↔B)** ボタンを押す。
《A-B》 LED が点灯に変わり、新たに指定したA↔Bリピートが始まります。

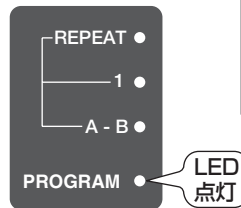
プログラム演奏

自分でプログラムして、聴きたい曲だけを好きな順序で演奏を楽しむことができます。
プログラムには、32曲(または合計時間999分59秒)まで登録することができます。

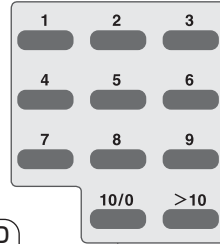
プログラムするには

1 STOP(停止)中に、**PROGRAM** ボタンを押す。

- **PROGRAM** LEDが点灯してプログラム開始可能となります。
- **CONTINUE** ボタンを押すと、**PROGRAM** LEDが消灯し、プログラム・モードは解除されます。
但し、プログラムした内容を削除するには、ディスク・トレイを開けるか本機の電源を切ってください。
- 演奏中や一時停止中でもセットできますが、その過程は表示されません。



ダイレクトプレイ・ボタン



2 ダイレクトプレイ・ボタンを押して、トラック番号を入力する。

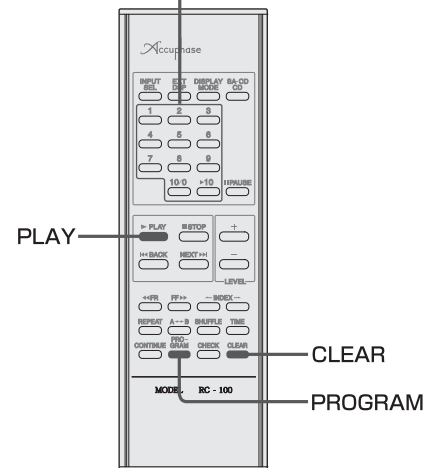
ボタンを押して入力すると、トラック番号、プログラムした順序(約2秒間)、プログラムした曲の合計演奏時間が表示されます。

- トラック番号を押しまちがえたときは、**CLEAR** ボタンを押して再入力します。
- 11曲目以降の入力は、**>10** を使用します。(16ページ参照)
- 途中の変更は次ページの「プログラムした内容を変更する」を参照してください。



3 プログラムが終わったら、**PLAY** ボタンを押す。

プログラムした順序で演奏が始まります。



プログラム演奏中に普通の再生に戻すには

CONTINUE ボタンを押すと、**PROGRAM** LEDが消え、**< CONTINUE >** と表示し普通の再生に戻ります。

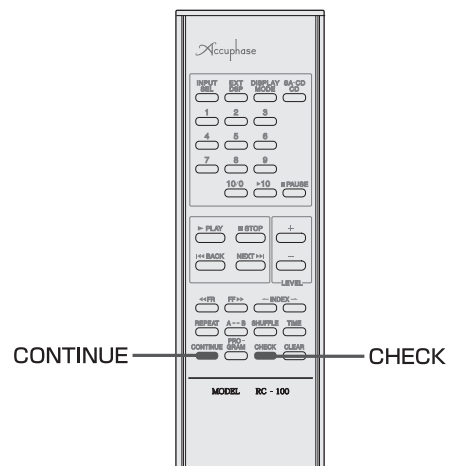
- プログラム内容はそのまま残っていますので、再度 **PROGRAM** ボタンを押すと、現在演奏中のトラック終了後、再びプログラム演奏に戻ります。

プログラムの演奏順序や曲数がチェックできる

演奏の前や演奏中に、**CHECK** ボタンを1回押す度に、プログラムした第1曲目から順番に曲番とその曲の合計時間がディスプレイされます。演奏中はそれ以降の曲のプログラムから表示します。

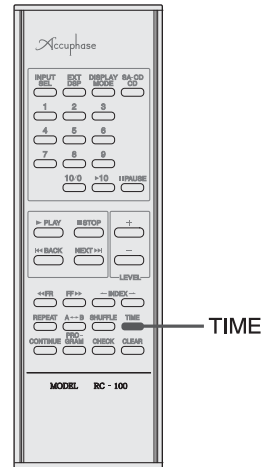
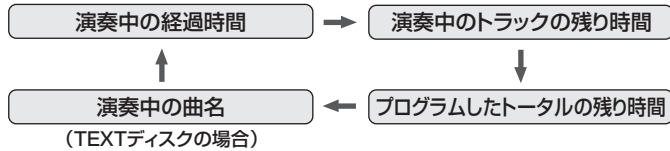
そのままにしておけば、6秒後に解除されて、ボタンが押される前の状態に復帰します。

※プログラムした曲の最後になると **< Prog END >** と表示します。



プログラム演奏中に (TIME) ボタンを押すと

押すたびに、下記のように繰り返し表示します。



プログラムした内容を変更する

演奏を始める前、または ■ (STOP) ボタンを押して停止中 のとき、プログラムの内容を変更できます。

※PLAY(演奏)中やPAUSE(一時停止)中にはできません。

●プログラムしたトラック(曲)を削除したいときは

(CHECK) ボタンを使って削除したい曲番を表示させ、(CLEAR) ボタンを押します。

●プログラムの最後に追加する

◀◀ (BACK) / ▶▶ (NEXT) ボタンを押して、追加したい曲を選び (PROGRAM) ボタンを押します。

または、リモート・コマンダーのダイレクト・プレイボタンで、追加したい曲番を押します。

●セットしたプログラムをすべて削除したいときは

(CLEAR) ボタンを ◀ Prog CLEAR ▶ と表示されるまで押し続けます。(約2秒間)

プログラムを解除するには

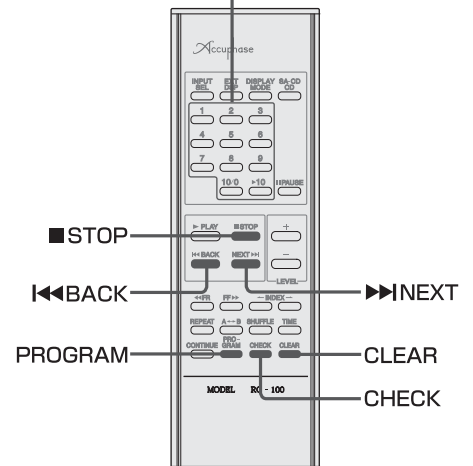
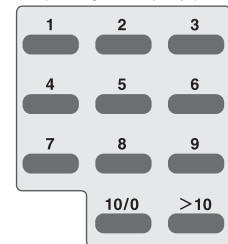
本機の電源を切る。またはディスク・トレイを開けるとプログラムは解除されます。

注意：ディスク・トレイを開けても ◀PROGRAM▶ LEDは点灯していますが ▶ (PLAY) ボタンを押すと消灯します。

プログラム演奏のご注意

- ▼演奏が終わってもプログラムは残っています。▶ (PLAY) ボタンを押すと再び演奏が始まります。
- ▼プログラム演奏中に ■ (STOP) ボタンを押すと、演奏は停止しますが、プログラムは解除されません。
- ▼プログラム演奏中に ◀◀ (BACK) / ▶▶ (NEXT) ボタンを用いれば、プログラム順序に従って、戻り/送りされ、希望のトラックの頭から演奏開始ができます。
- ▼プログラム演奏中においても INDEX(インデックス)ボタンを使用して演奏を楽しむことができます。

ダイレクトプレイ・ボタン



7. DP-800を活用する接続例

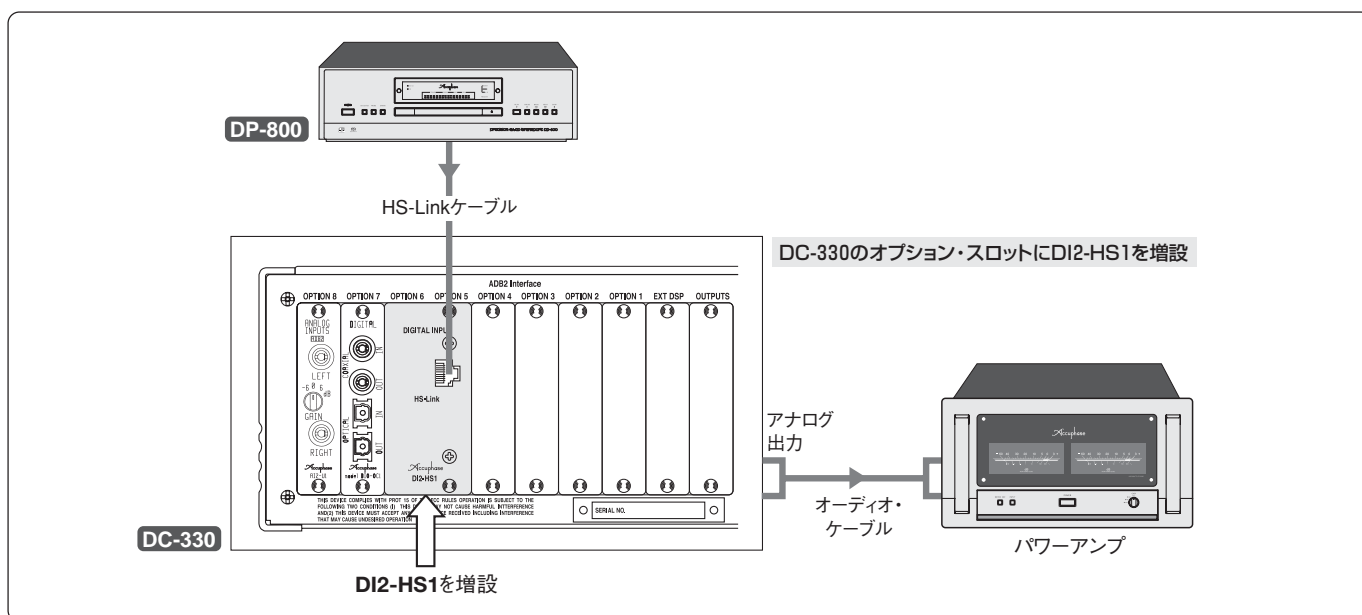
DP-800でSA-CDを再生するためにHS-Linkを使用すれば、DC-801以外にデジタル・プリアンプDC-330やSA-CD/CDプレーヤーDP-78とも組み合わせることができます。さらに他のオプション・ボードも使用して、ヴォイシング・イコライザーDG-38、マルチチャンネル・ディバイダーDF-45などの組み合わせも可能となります。

※詳しい接続方法は、それぞれの機種取扱説明書を参照してください。

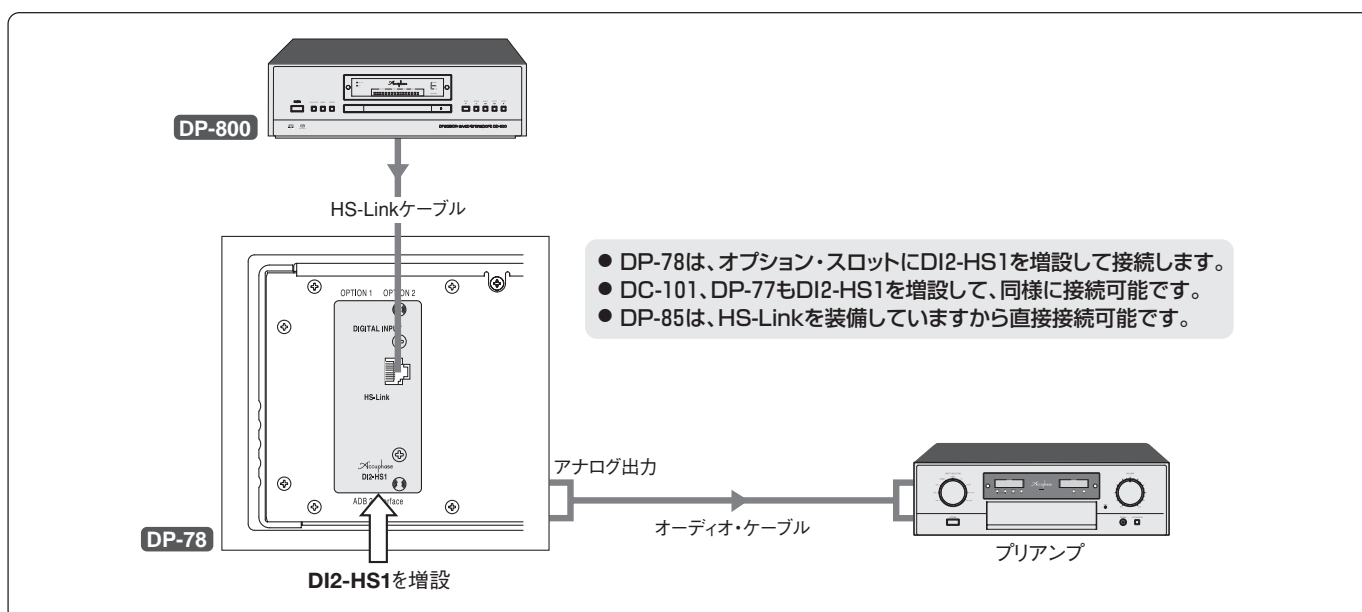
※HS-LinkケーブルはDP-800に付属しています。

※オプション類は26, 27ページ参照。

DC-330と接続



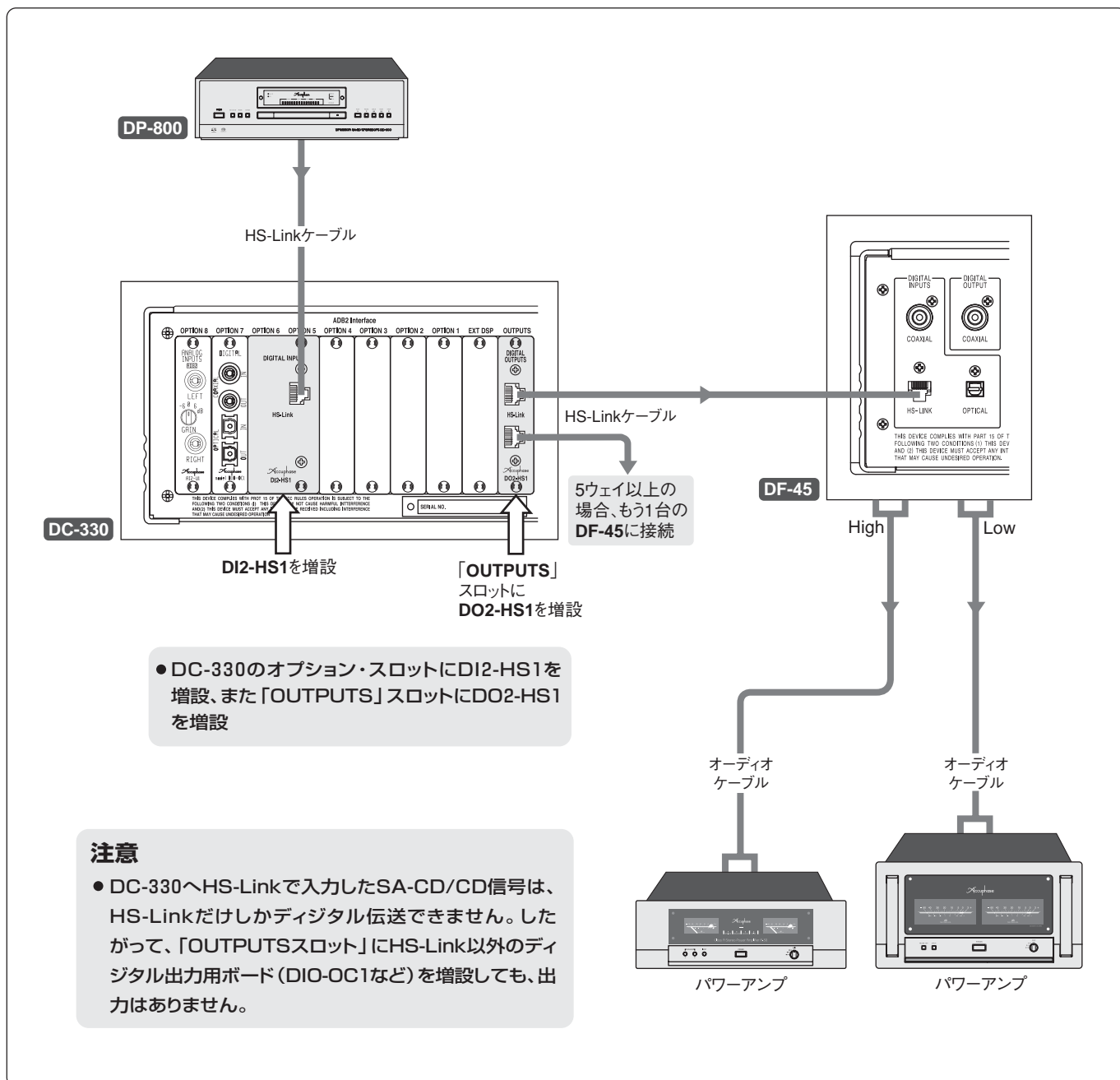
DP-78などと接続



DP-800とDC-330, DF-45をデジタルで接続

HS-Linkにより、(DP-800)→(DC-330)→(DF-45)とパワーアンプ直前までデジタル接続して、マルチアンプシステムの構築が可能になります。それぞれの機種はHS-Linkケーブルで接続します。

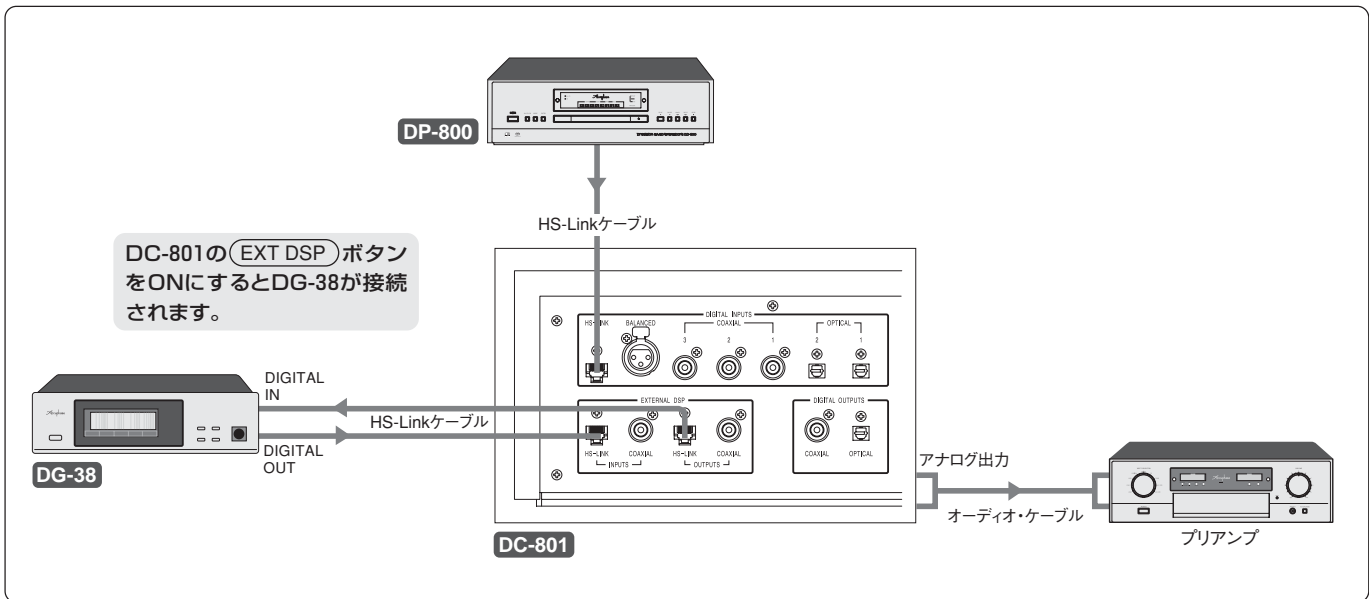
※DC-330やDF-45の詳細い説明はそれぞれの取扱説明書を参照してください。



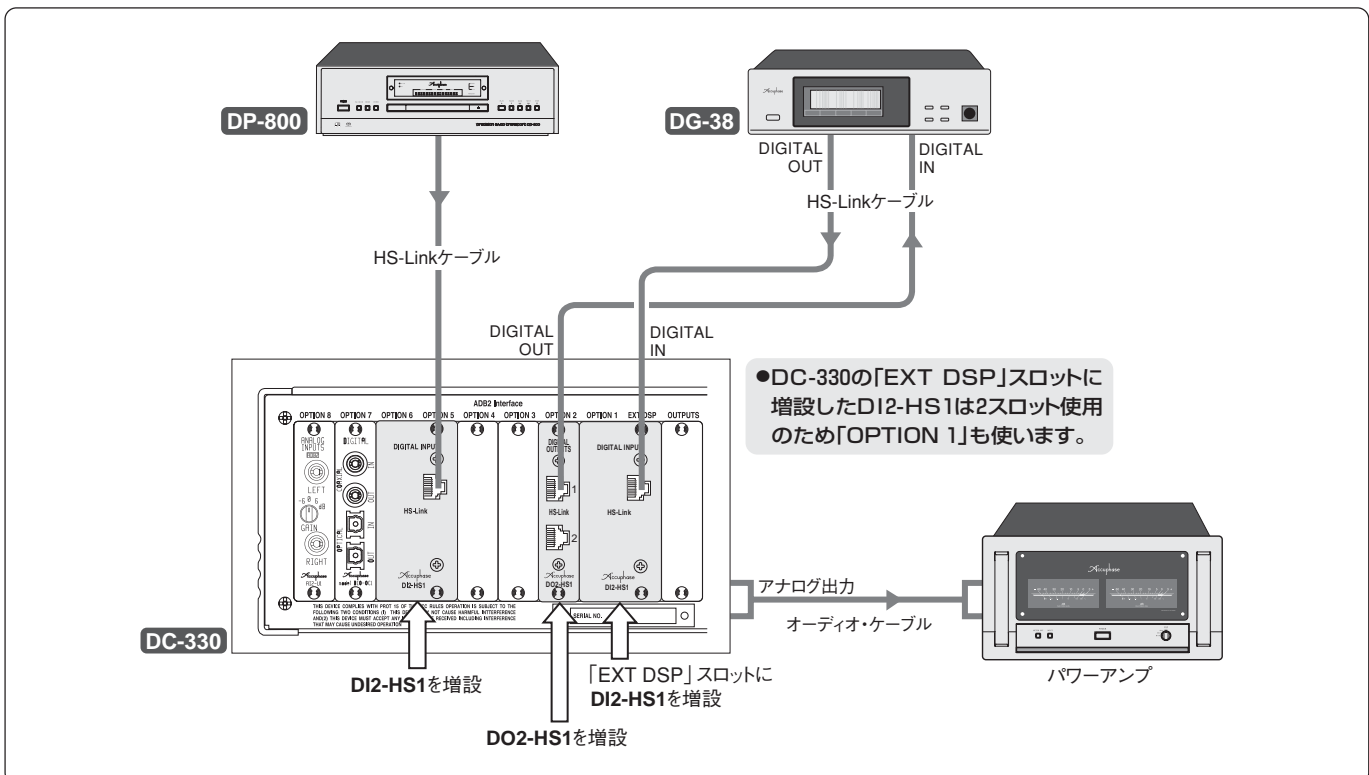
DP-800とDG-38の組み合わせ例

デジタル・ヴォイシング・イコライザーDG-38を接続して音場補正が可能です。DP-800にDC-801やDC-330を接続した場合は、「EXT DSP」機能により、デジタル信号での音場補正が可能です。デジタル接続の場合は、それぞれの機種をHS-Linkケーブルで接続します。アナログ接続の場合は、DG-38にオプション・ボードを増設して接続します。

1 DC-801とDG-38をデジタル接続する場合

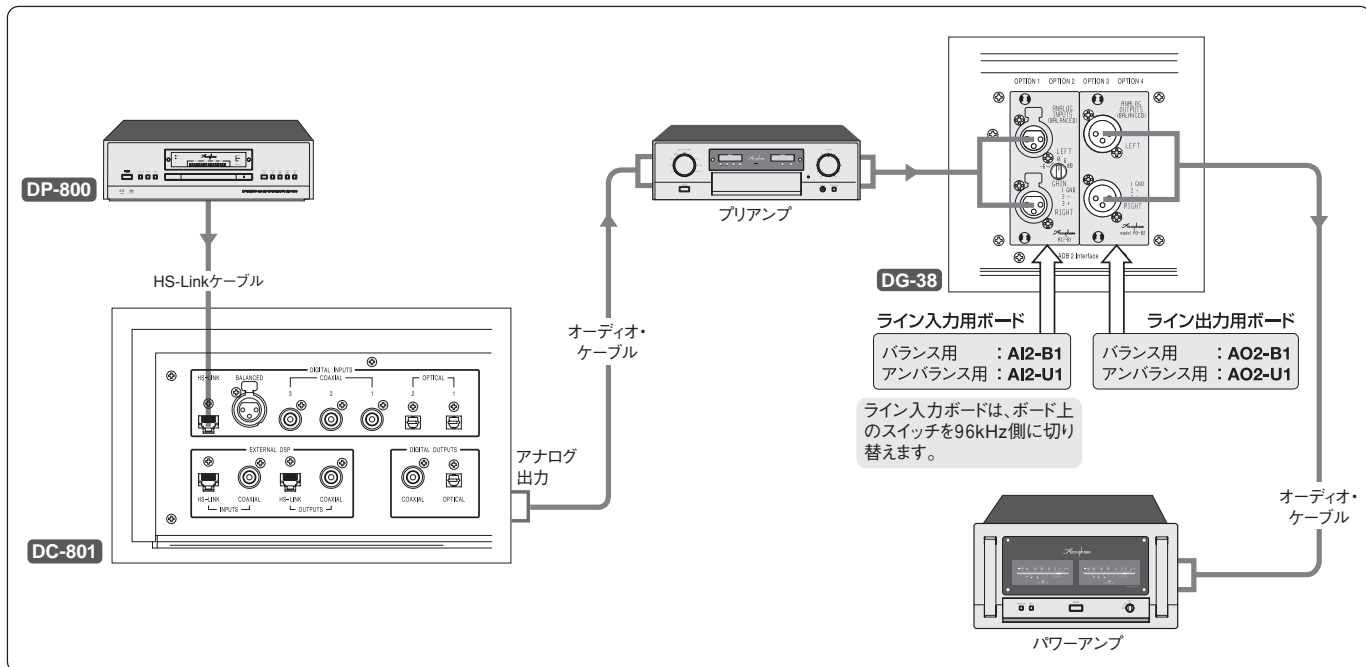


2 DC-330とDG-38をデジタル接続する場合

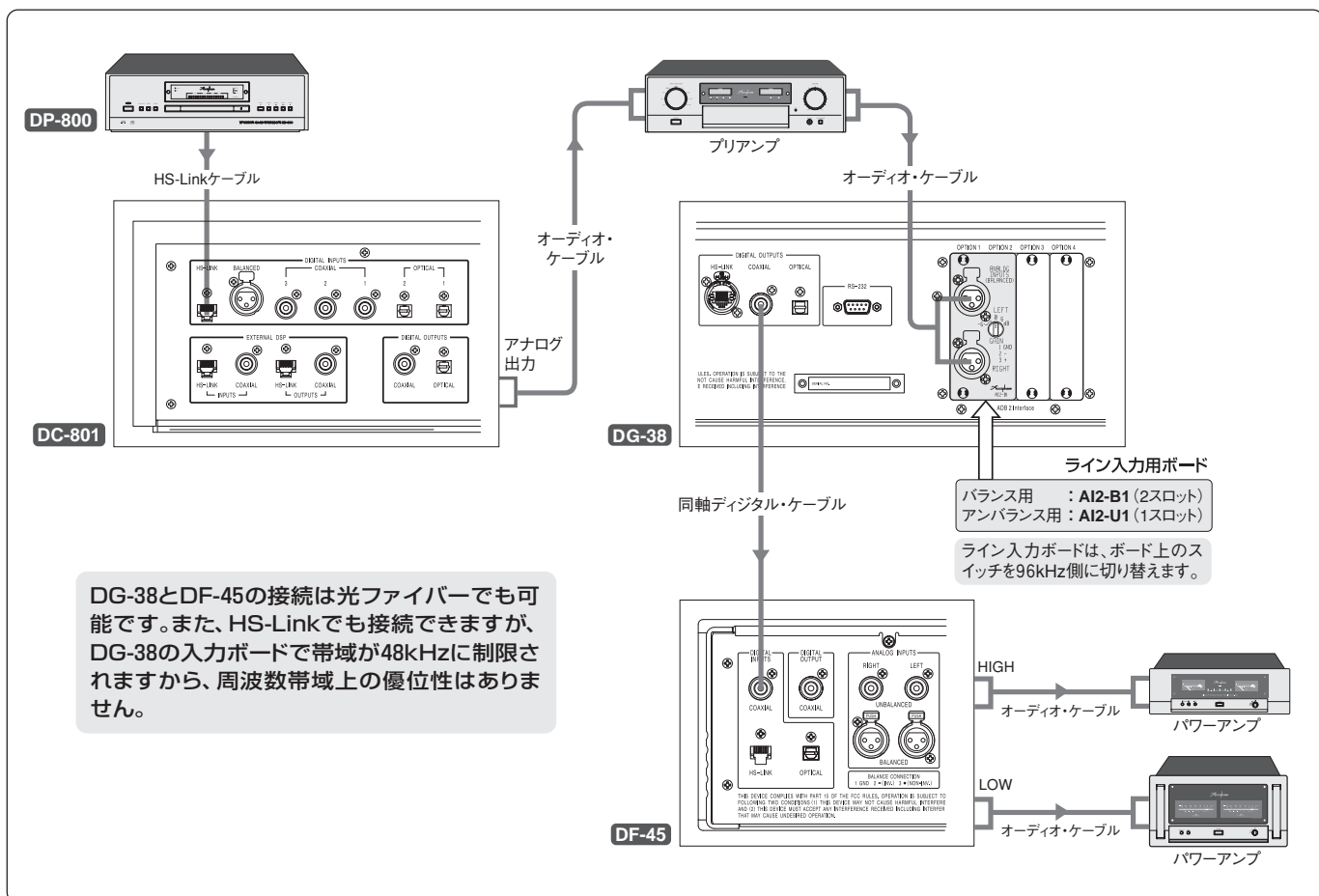


3 DG-38をアナログ接続する場合

- DG-38をプリアンプとパワーアンプの間に接続します。
- DG-38のオプション・スロットに入力ボードと出力ボードを増設します。



4 さらにDF-45を接続する場合



8. 他機種との接続で使用するオプション類

DP-800と他の機種を接続して、広帯域、広ダイナミック・レンジのSA-CDの演奏を楽しむためには、HS-Linkインターフェースが必要です。HS-Linkは、専用のHS-Linkケーブルを使用して接続するため、DP-800を活用するHS-Link用関連オプションやアナログ接続用オプション・ボードを用意しています。

これらオプション・ボードを使用すれば、いろいろな機種との接続が可能になります。ここでは前章の「DP-800を活用する接続例」で登場したオプションを紹介します。

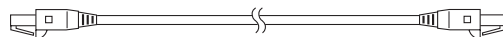
接続例は22～25ページを参照してください。

●オプション・ボードの増設方法は、それぞれの機種の取扱説明書を参照してください。

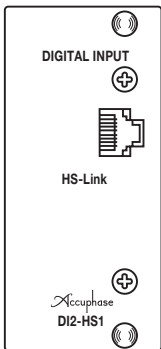
HS-Linkケーブル(1.5m) HDL-15 希望小売価格 10,000円(税込 10,500円)

HS-Linkインターフェースでデジタル信号を伝送するケーブルです。

- シールド付ツイスト・ペア8芯OFCケーブル(TIA/EIA-568A CAT.5)
- DP-800に付属しています。



HS-Link入力ボード DI2-HS1 希望小売価格 100,000円(税込 105,000円)



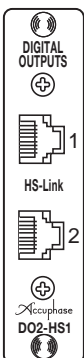
HS-Linkインターフェースでデジタル信号を伝送する場合の、HS-Link入力ボードです。

- DP-800をDC-330,DP-78等に入力する場合、接続する機器に増設します。

※ 専用のHS-Linkケーブルで接続します。

当社別売ケーブル：HDL-15

HS-Link出力ボード DO2-HS1 希望小売価格 80,000円(税込 84,000円)



HS-Linkインターフェースでデジタル信号を伝送する場合の、HS-Link出力ボードです。

このボードをDC-330に増設することにより、DP-800のデジタル信号がDC-330を経由してDF-45までデジタル伝送が可能となります。(接続例は23ページ参照)

- DC-330の『OUTPUTS』スロットにDO2-HS1を増設して、DF-45と接続します。

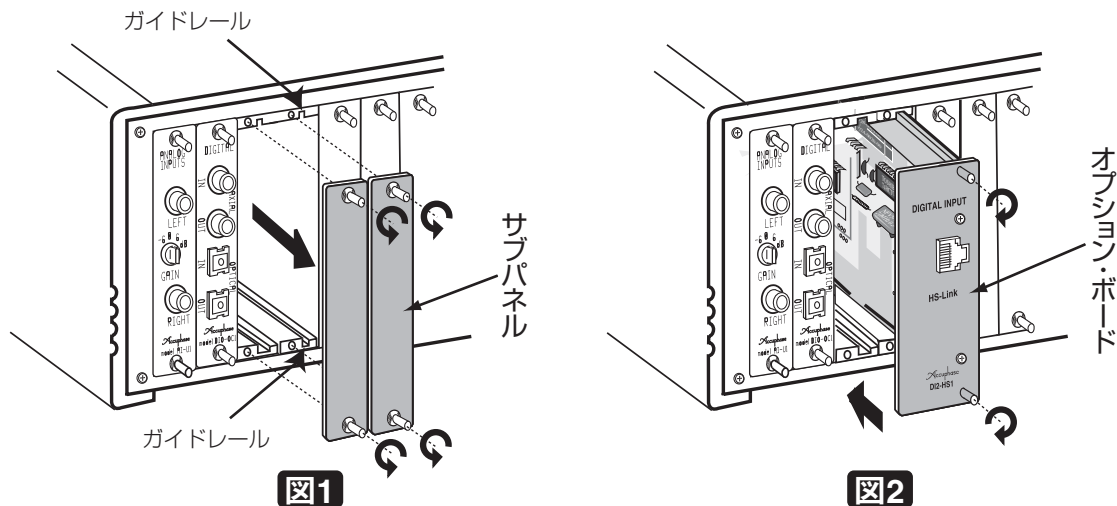
※ 専用のHS-Linkケーブルで接続します。

当社別売ケーブル：HDL-15

オプションの取り付け方法

イラスト例はDC-330を示す。

- ❶ 増設する機器の電源スイッチをOFFにします。
- ❷ 上下の飾りネジを手でゆるめ、リアパネルのオプション用スロットのサブパネルをはずします。
(図1参照)
2スロット使用するボードの場合は、2枚はずします。
- ❸ 挿入口の上下ガイドレールに沿って、オプション・ボードを挿入(図2参照)します。コネクタに当たって止まったら、少し力を入れてコネクタを完全に差し込みます。(パネル面が同一になればOKです。)
- ❹ 上下の飾りネジで確実に固定します。



⚠ 注意

- オプションを抜き差しするときは、必ず増設する機器の電源を切る。
電源を入れたまま抜き差しすると、故障の原因となります。
- 部品面やハンダ面、コネクタの接点部分を手で触らない。
手で触ると接触不良や回路が故障する原因となることがあります。ボードを持つ場合にはプリント板の外周やパネル部を持ってください。
- オプションの取り付けネジは手で完全に締める。
締めつけが不完全ですと、端子がグラウンドから浮いて接触不良となり、故障の原因となることがあります。

9. 保証特性

適合ディスク	2チャンネル SA-CD CD
読み取り方式	非接触光学式
レーザー・ダイオード発光波長	SA-CD用：650nm CD用：780nm
デジタル出力	HS-Link コネクタ形状：RJ-45 適合ケーブル：HS-Link専用ケーブル COAXIAL フォーマット：IEC 60958
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	18W
最大外形寸法	幅477mm×高さ156mm×奥行394mm
質 量	26.6kg
付属リモート・コマンダーRC-100	リモコン方式：赤外線パルス方式 電 源：単4形乾電池2個使用 最大外形寸法：56mm×175mm×26mm 質 量：155g(電池含む)

●本機は「JIS C-61000-3-2 適合品」です。

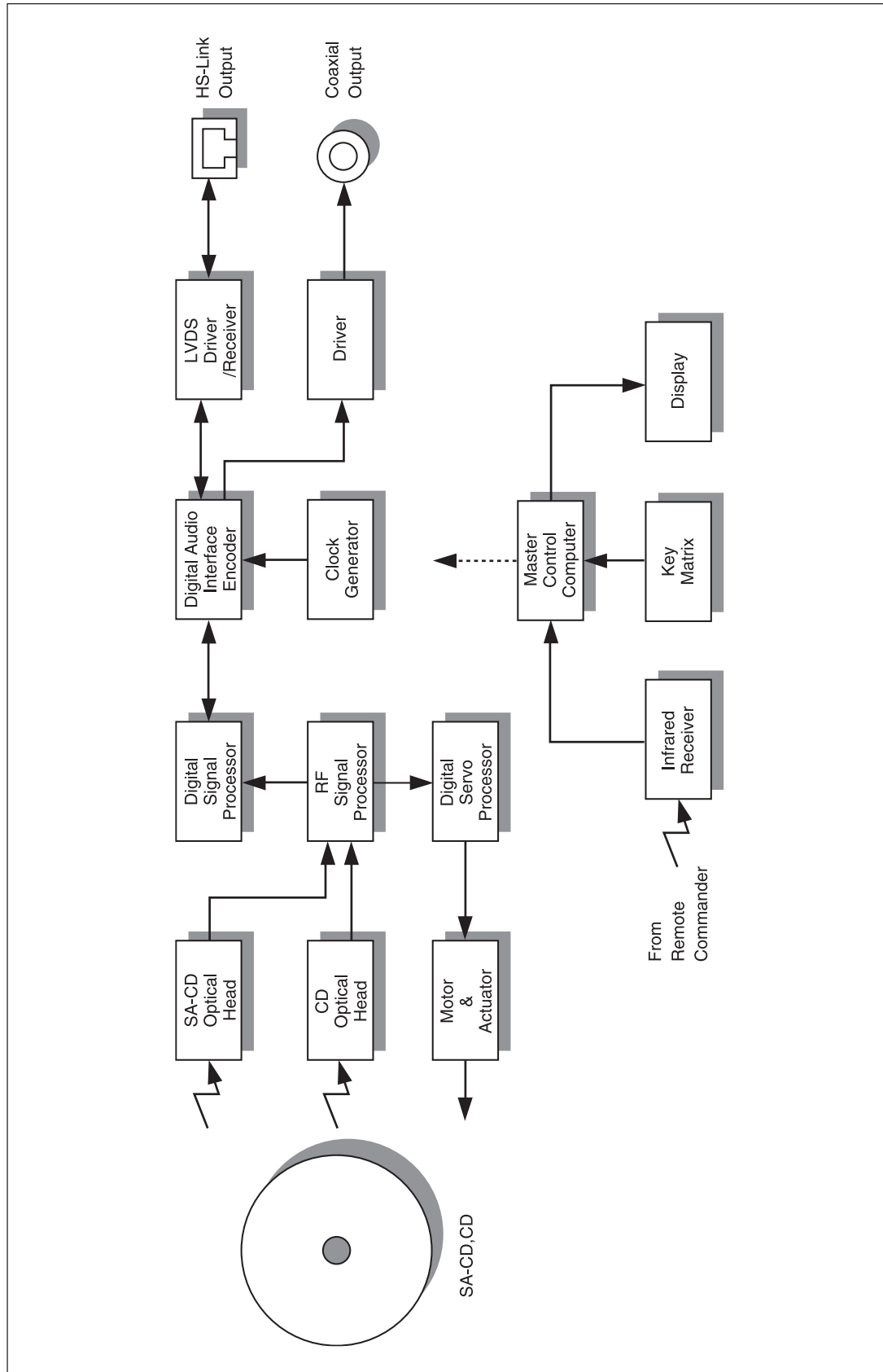
JIS C-61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値(1相あたりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

※本機の特長および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

著作権について

放送や録音物(CD、テープなど)から、あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外、権利者に無断で使用することはできません。音楽作品は著作権法により保護されています。

10. ブロック・ダイアグラム



11. 故障かな?と思われるときは

故障かな?と思われるときは、修理を依頼される前に、下記の項目をチェックしてください。
これらの処置をしても直らない場合には、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。



注意

：接続を変える場合には、必ず各機器の電源を切る。

電源が入らない

- 電源コードが抜けていませんか。(本体側、コンセント側確認)

プロセッサ側で周波数ロックしない

- HS-Link、同軸などそれぞれ接続したケーブルをお確かめください。
- プロセッサ側で入力した端子を選択してください。

演奏が始まらない

- ディスクが正常に装着されていますか?
- 結露していませんか?(3ページ参照)
- 本機で演奏できるディスクですか?(4ページ参照)

音がでない。またはレベルが低い

- プロセッサ側で周波数ロックはされていますか。
- 出力コードが正しくアンプに接続されていますか。
- アンプ側のスイッチ類やボリュームの確認をします。
- プロセッサ側の出力レベルを確認します。

音が途切れたり雑音が出る。 演奏途中でディスクが止まる

- ディスクに反り、汚れ、傷はありませんか。
- 接続コードのプラグの汚れ、接触を点検します。

リモート・コマンダーで操作できない

- 電池は入っていますか。
- 新しい電池に交換してみましょう。
- 受光部付近に障害物はありませんか。

12. アフターサービスについて

保証書

- 保証書は本体付属の「お客様カード」の登録でお送りいたします。
- 「お客様カード」の「お客様情報欄」には付属の「目隠しシール」を貼ってご返送ください。
- 保証書の記載内容により、保証期間はご購入日から3年間です。
- 「お客様カード」の登録をされていない場合、購入日は当社からの出荷日が適用されます。
- 保証書登録は付属の「お客様カード」で行われますが、購入が不適切な場合は登録できないことがあります。
- 保証書がない場合には、保証内修理をお断りする場合があります。よくお読みのうえ、大切に保存してください。
- オプション・ボードやオプション・ユニットには「お客様カード」は付属していません。

保証期間が過ぎてしまったら

- 修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。
- 補修部品の保有期間は経済産業省指導により、製造終了後最低8年間となっています。使用期間が相当経過している場合には、当社品質保証部にお問い合わせください。



注意

保証期間以降、長期に渡ってご使用の場合には、当社の定期的な点検をお勧めします。

その他

- 改造されたものは修理ができない場合がありますのでご了承ください。
- 本機の故障に起因する付随的損害(営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等)については補償できません。
- AC100V以外(海外)では使用できません。
- 保証は日本国内のみ適用されます。

Accuphase warranty is valid only in Japan.

お問い合わせは

- ご質問、ご相談、当社製品取扱店のご案内などは、下記の当社品質保証部へお願いします。

アキュフェーズ株式会社 品質保証部
〒225-8508 横浜市青葉区新石川 2-14-10
TEL 045(901)2771(代表)
FAX045(901)8995

- 修理のご相談は、お買い求めの当社製品取扱店へお願いします。
- 当社のホームページ上でも修理の問い合わせが可能です。
<http://www.accuphase.co.jp/>

修理依頼の場合には

- “故障かな?と思われるときは”をご確認後、直らない場合には、電源プラグをコンセントから抜き、当社製品取扱店に修理を依頼してください。

次の内容をお知らせください。(保証書参照)

- モデル名、シリアル番号
- ご住所、氏名、電話番号
- ご購入日、ご購入店
- 故障状況:できるだけ詳しく

※梱包材は、輸送時に必要となりますので、保管しておいてください。

Notes:

A series of horizontal dashed lines for writing notes.



ACCUPHASE LABORATORY, INC.

アキュフェーズ株式会社

横浜市青葉区新石川2-14-10

〒225-8508 TEL (045) 901-2771(代)

<http://www.accuphase.co.jp/>